

2. アンケート調査

2-1. 調査の概要

(1) 調査対象と実施期間

公益社団法人全国老人福祉施設協議会に加盟している介護老人福祉施設 2,000
公益社団法人全国老人保健施設協会に加盟している介護老人保健施設 1,100
それぞれ対象施設の抽出に際しては各団体の協力を得た。

・調査実施期間 平成23年10月～平成23年12月中旬

(2) 回収状況

	発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
介護老人福祉施設	2,000	340	338	16.9%
介護老人保健施設	1,100	212	212	19.3%
合計	3,100	552	550	17.7%

2-2. アンケート調査の結果

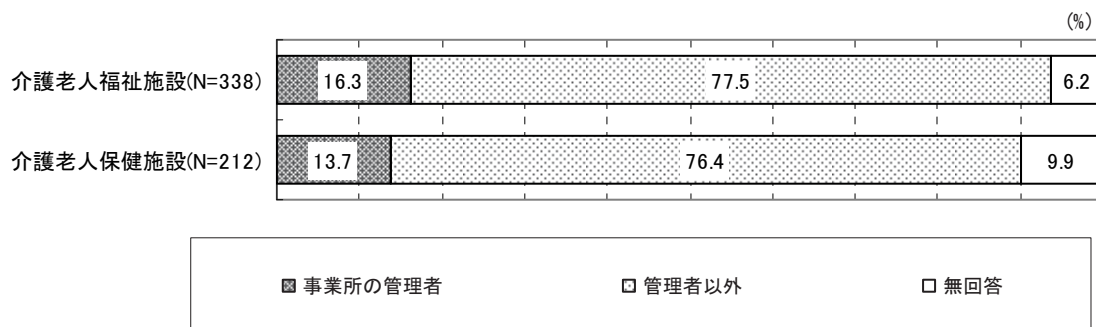
アンケート調査の結果は以下のとおりであった。

(1) 回答者の属性等

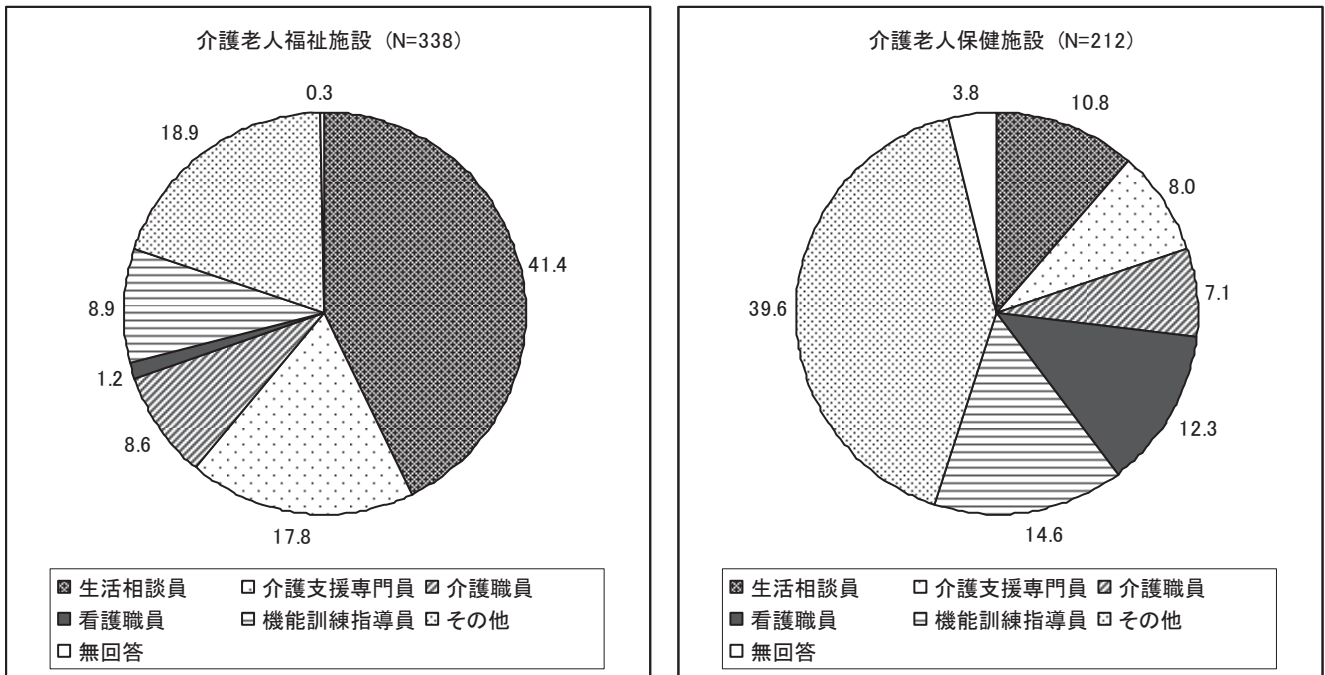
回答者の管理者比率は介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに20%未満である。

職種は、介護老人福祉施設は生活相談員が、介護老人保健施設はその他が約4割を占めた。その他の内訳は施設長および事務職員が大半を占めている。また、経験年数の平均は介護老人福祉施設が10年弱、介護老人保健施設が8年弱である。

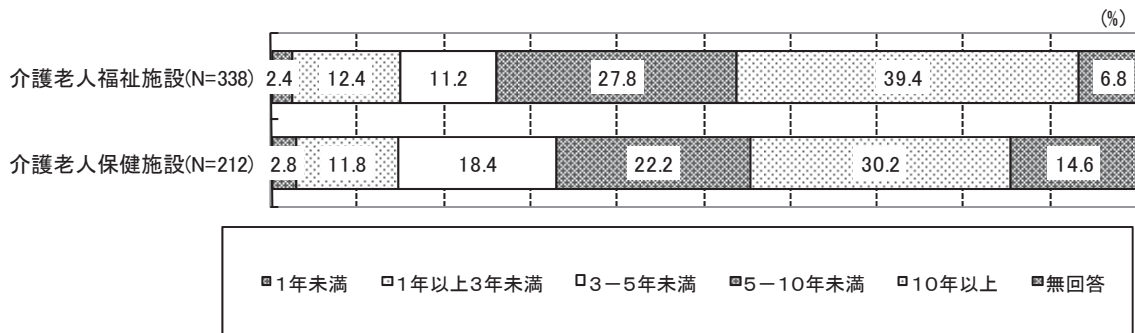
図表 2 記入者の役職



図表 3 記入者の職種



図表 4 記入者の経験年数



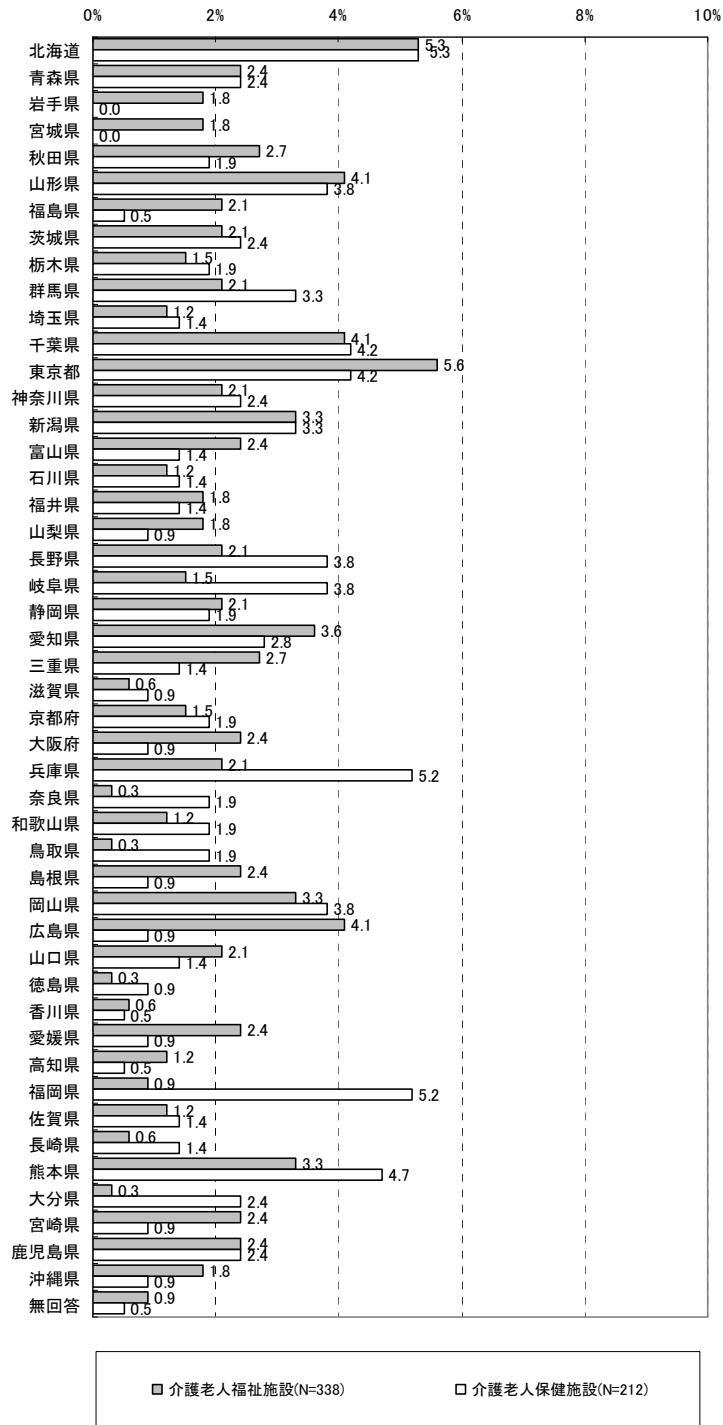
施設種別	全体	記入者_経験年数(年)							平均
		1年未満	1年以上3年未満	3-5年未満	5-10年未満	10年以上	不明	非該当	
合計	550	14	67	77	141	197	54	0	8.99
介護老人福祉施設	338	8	42	38	94	133	23	0	9.62
介護老人保健施設	212	6	25	39	47	64	31	0	7.89
	100.0	2.5	12.2	14.0	25.6	35.9	9.8		
	100.0	2.4	12.4	11.2	27.8	39.4	6.8		
	100.0	2.8	11.8	18.4	22.2	30.2	14.6		

(2) 施設の概要

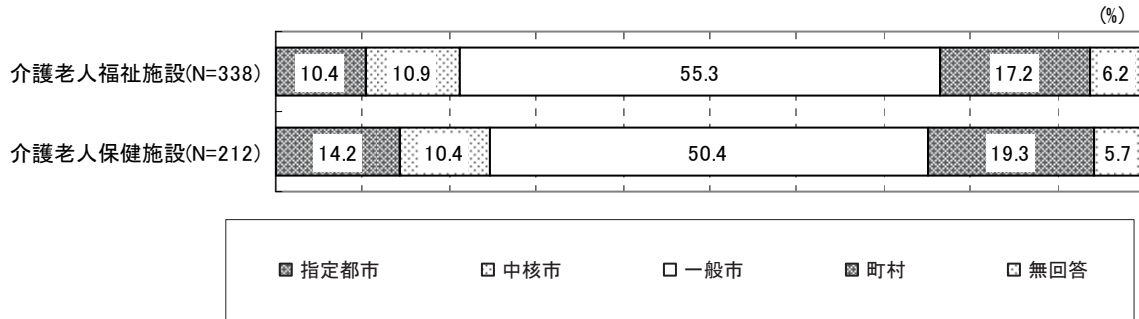
1) 所在地

施設の所在地は、北海道、東京都がやや多かった。市部町村部別では「一般市」からの回答が半数以上を占めた。

図表 5 所在地（都道府県別）



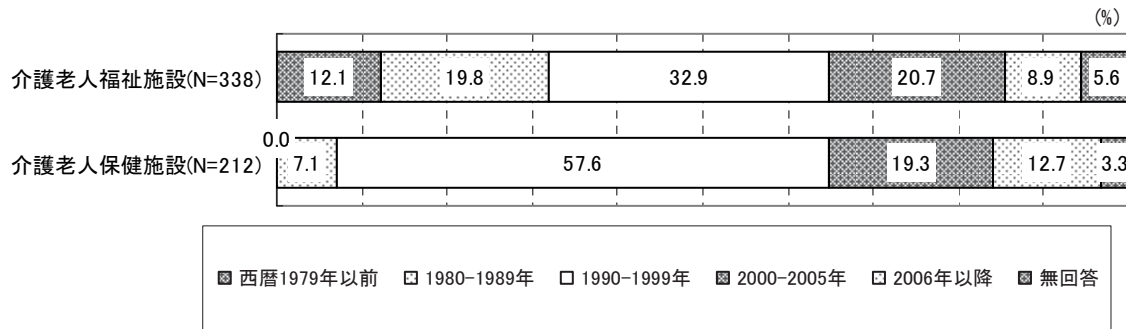
図表 6 所在地



2) 開設年

開設年は、介護老人福祉施設では「1990-1999年」32.9%、「2000-2005年」20.7%、「1980-1989年」19.8%の順に多く、介護老人保健施設では「1990-1999年」が過半数を占めた。

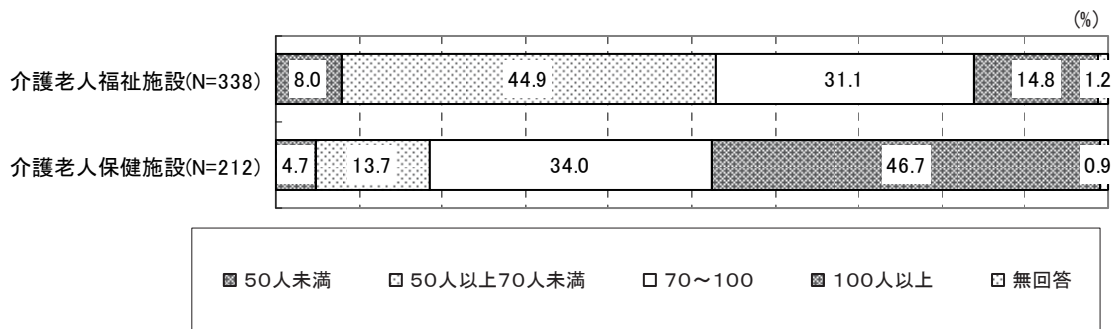
図表 7 開設年



3) 入所定員

入所定員は、介護老人福祉施設では「50人以上70人未満」が44.9%、介護老人保健施設では「100人以上」が46.7%を占めた。平均はそれぞれ67.2人、89.4人であった。

図表 8 入所定員

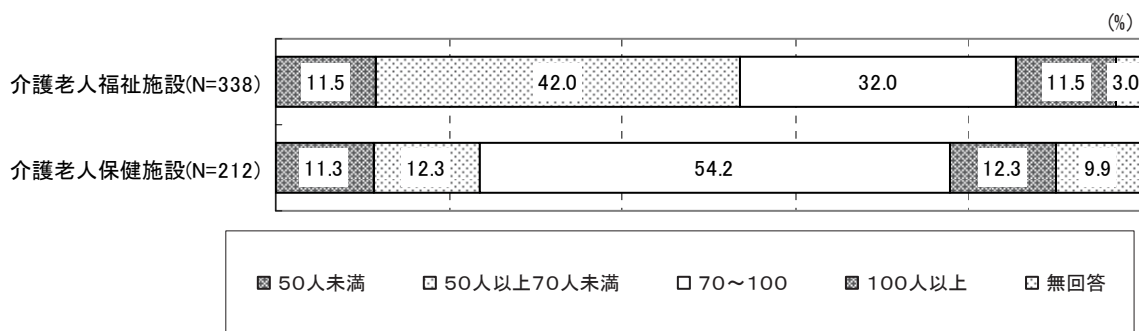


		全体	1. (1) 入所定員						平均
			50人未満	50人以上70人未満	70～100	100人以上	不明	非該当	
合計		550 100.0	37 6.7	181 32.9	177 32.2	149 27.1	6 1.1	0	75.77
施設種別	介護老人福祉施設	338 100.0	27 8.0	152 44.9	105 31.1	50 14.8	4 1.2	0	67.18
	介護老人保健施設	212 100.0	10 4.7	29 13.7	72 34.0	99 46.7	2 0.9	0	89.42

4) 入所者数

入所者数は、介護老人福祉施設では「50人以上70人未満」が42.0%、介護老人保健施設では「70～100」が54.2%を占めた。

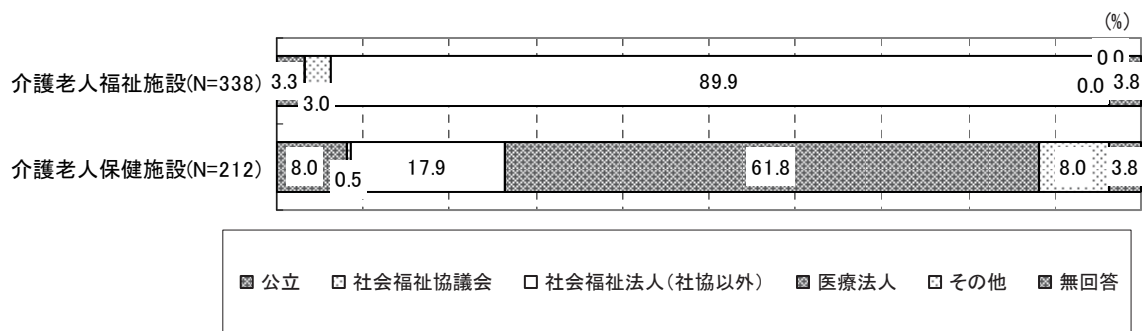
図表 9 入所者数



5) 運営主体

運営主体は、介護老人福祉施設では「社会福祉法人（社協以外）」が9割弱を占めており、介護老人保健施設では「医療法人」が6割強を占めた。

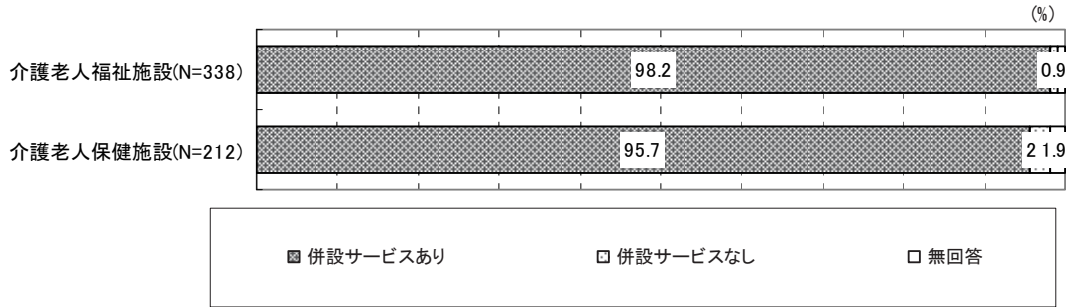
図表 10 運営主体



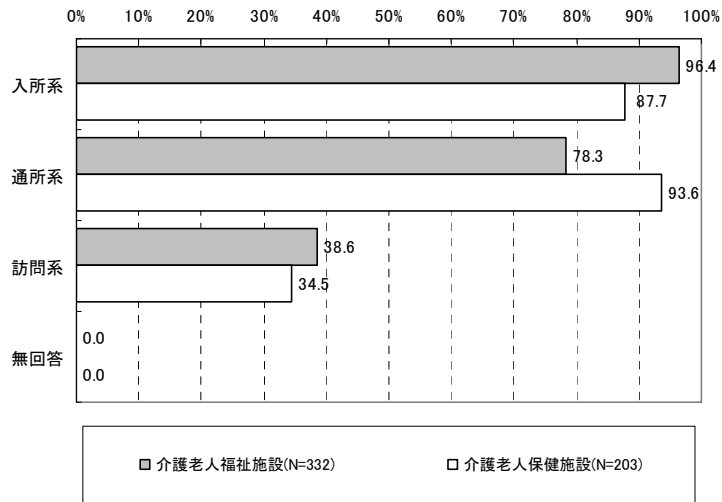
6) 併設施設

ほぼ全ての施設が併設サービスを有しており、併設サービスの内訳は入所系施設と通所系施設型が大半を占めている。訪問系サービスを併設しているのは4割弱にとどまる。

図表 11 併設施設の有無



図表 12 併設施設の種類



7) 入所者の要介護度

入所者の平均要介護度は介護老人福祉施設 3.95、介護老人保健施設 3.37 である。

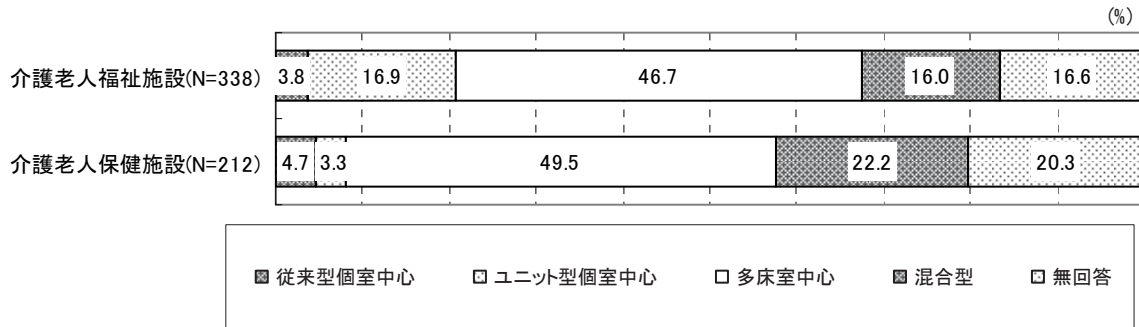
図表 13 入所者の平均要介護度

		全体	1. (1) 要介護度別入所者数_平均要介護度					平均	
			3未満	3.0以上3.5未満	3.5以上4.0未満	4以上	不明		非該当
合計		550	27	120	176	155	72	0	3.73
		100.0	4.9	21.8	32.0	28.2	13.1		
施設種別	介護老人福祉施設	338	0	20	134	146	38	0	3.95
		100.0	0.0	5.9	39.6	43.3	11.2		
介護老人保健施設		212	27	100	42	9	34	0	3.37
		100.0	12.7	47.3	19.8	4.2	16.0		

8) 施設の形態

介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに多床室中心が約半数を占めている。

図表 14 施設の形態



9) 職員体制

職員の換算人数の平均値（常勤職員および非常勤職員）については、介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに介護職員が最も多く合計で 30 人を超えている。次いで、介護老人保健施設では看護職員が約 10 人強、介護老人福祉施設では 5 人弱となっている。機能訓練指導員については、介護老人保健施設では約 4 人、介護老人福祉施設では、約 1 人が配置されている。

図表 15 職員体制

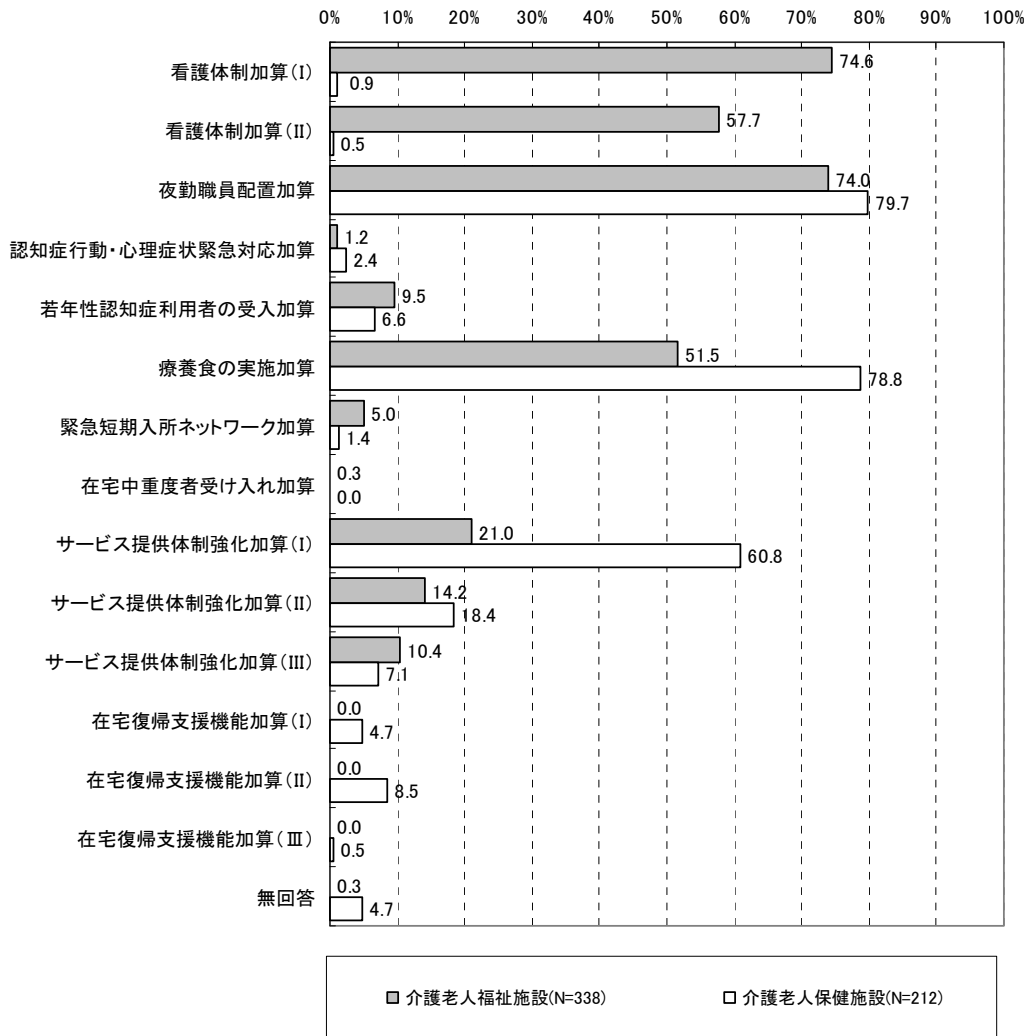
	介護老人福祉施設		介護老人保健施設	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護支援専門員	1.40	0.26	1.75	0.20
看護職員	3.60	0.97	9.45	1.66
機能訓練指導員	0.93	0.19	3.39	0.39
医師	0.26	0.33	0.96	0.33
生活相談員	1.30	0.07	1.58	0.02
介護職員	27.07	5.44	28.16	3.34

10) 加算の算定状況

介護老人福祉施設では看護体制と夜間職員配置に関する加算を算定している施設が多い。療養食の実施加算を算定している施設も過半数を占めている。

介護老人保健施設では夜間職員配置加算、療養食の実施加算、サービス提供体制強化加算を算定している施設が多い。

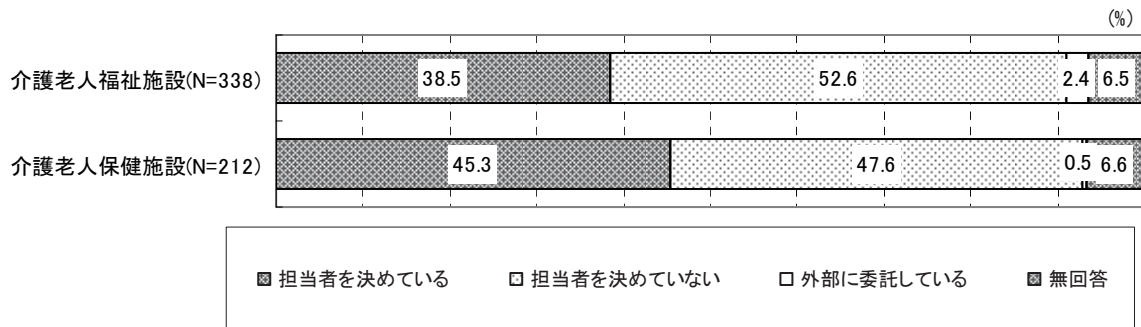
図表 16 加算の算定状況



1.1) 福祉用具管理担当者の設置

福祉用具の管理担当者については、介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに担当者を決めている施設は4割程度にとどまっている。

図表 17 福祉用具管理担当者の配置

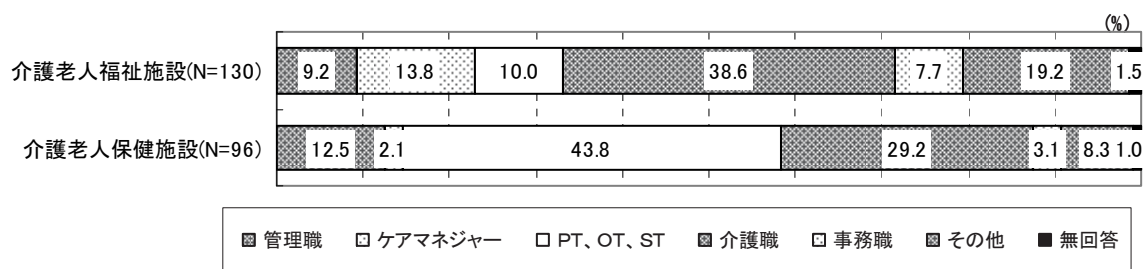


1 2) 福祉用具管理担当者の職種

福祉用具管理担当者の職種は介護老人福祉施設では介護職が約4割で最も多い。PT・OT・STは10%である。

介護老人保健施設ではPT・OT・STが4割強で最も多く、介護職が30%近くでこれに次いでいる。PT・OT・STが最も多いが半数には達しておらず、リハ専門職の配置が義務づけられている施設であっても、リハ専門職の福祉用具への関与が充分でないことが懸念される結果となっている。

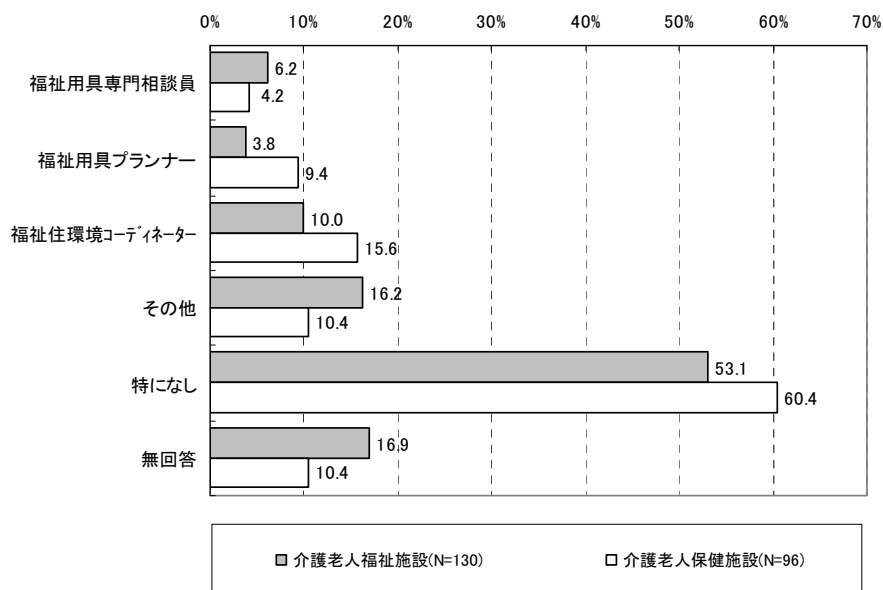
図表 18 福祉用具担当者の職種



1 3) 福祉用具管理担当者の保有資格

福祉用具管理担当者の福祉用具関係の保有資格としては、介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに「特になし」が過半数を占めている。

図表 19 福祉用具管理担当者の福祉用具関係の保有資格



図表 20 福祉用具関連資格を持っていない場合の職種内訳

		全体	1. (2) 福祉用具管理担当者の職種		
			P T、O T、S T	その他	無回答
1. (2) 福祉用具管理担当者が保有している資格	特になし	127 100.0	23 18.1	103 81.1	1 0.8

高齢者施設における福祉用具管理の現状に関するまとめ

- ・管理担当者をおいているのは半数不足である。【図表 17】
- ・介護老人保健施設では施設が福祉用具管理の担当者をおいているのは半数不足である。介護老人福祉施設では4割弱にとどまっている。

→高齢者施設では、福祉用具の管理について組織的な対応を取っていない施設が過半数を占めている。

- ・管理担当者をおいている施設では、介護老人保健施設ではP T・O T・S Tが管理担当者を勤めている施設が4割程度を占めているが【図表 18】、リハビリテーション専門職の設置が基準とされている施設としては少ない。
- ・介護老人福祉施設では介護職が管理を担当するケースが4割程度をしめている。【図表 18】
- ・福祉用具管理担当者においても福祉用具関係の資格を保有している者は少ない。【図表 19】

→「福祉用具の管理は専門的な知識を背景に取り組むべきもの」との認識は普及していない。

(3) 福祉用具の管理・メンテナンスの体制

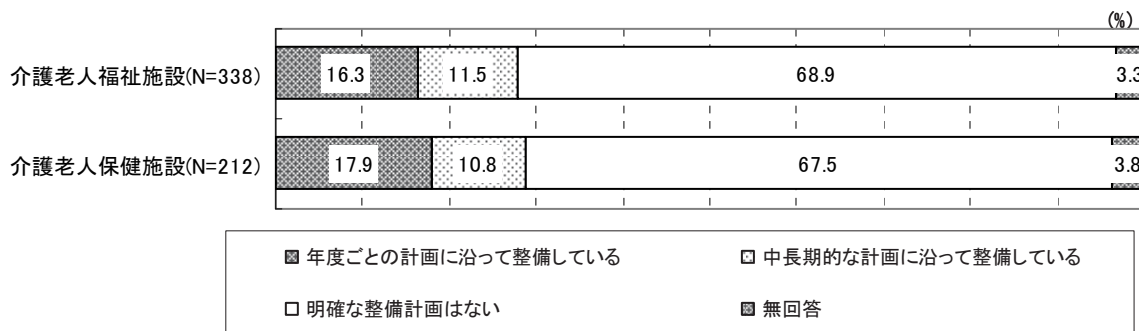
1) 計画的な整備・充実の仕組み

福祉用具の整備を計画的に行っているのは3割程度、そのうち年度計画に沿って整備しているのは2割程度である。介護老人福祉施設と介護老人保健施設の差はほとんどない。(※以下、特に記述がない場合は介護老人福祉施設と介護老人福祉施設の共通の結果である。)

調査票への回答施設は福祉用具の利用に関してある程度は意識の高い施設と考えられる。そうした施設においても7割が整備計画を有していないというのは、一般的に福祉用具の整備への取組が低調である状況を示している。

ただし委員からの指摘によれば、施設側の多くは、開設時の備品購入として福祉用具を揃えて以降は「古くなったら取り替える」程度の管理の施設が多く、入所者の状態、状況に応じて必要な用具を購入などの対応も多いため、計画的整備とは回答しにくいといった状況があるといわれており、明確な整備計画がない＝福祉用具が全く更新されていない訳ではないことに留意が必要である。

図表 21 計画的な整備・充実の仕組み

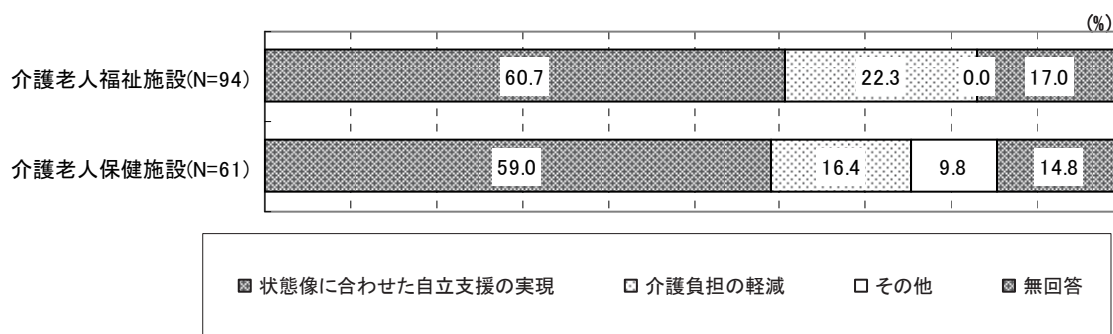


2) 整備目標

整備計画を有する施設の整備目標は「状態像に合わせた自立支援の実現」が約6割を占めている。「介護負担の軽減」は全体で20%と少ない。介護老人保健施設では16.4%であるが介護老人福祉施設では22.3%と、施設種別間で若干の傾向の違いが見られる。

「状態像に合わせた自立支援の実現」が6割以上を占めており、自立支援の姿勢が普及しているようにも見えるが、計画に沿って整備している施設の中だけでの回答として差し引いて評価すべきとの意見もある。介護サービス情報の公表の調査項目で「(適用に)工夫している」＝状態像に合わせていると回答しているとの見方もある。

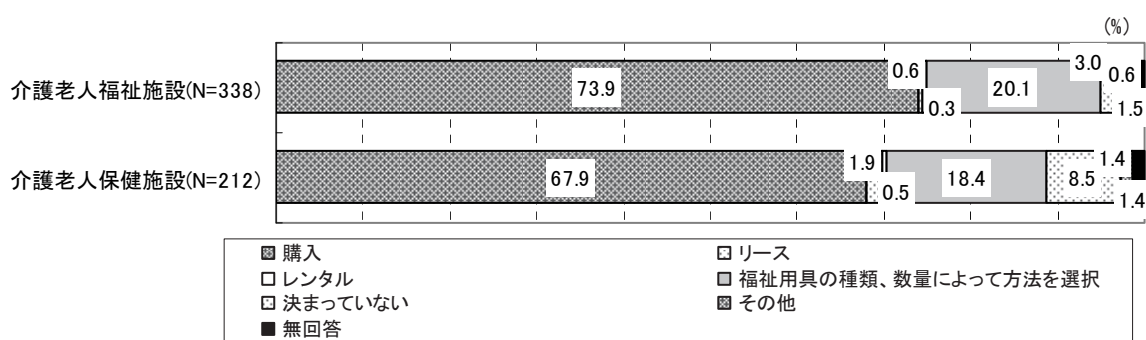
図表 22 整備目標



3) 調達方法

福祉用具の調達方法は「購入」が7割、「用具の種類・数量によって方法を選択」が2割弱である。介護老人福祉施設と介護老人保健施設の差はほとんどない。

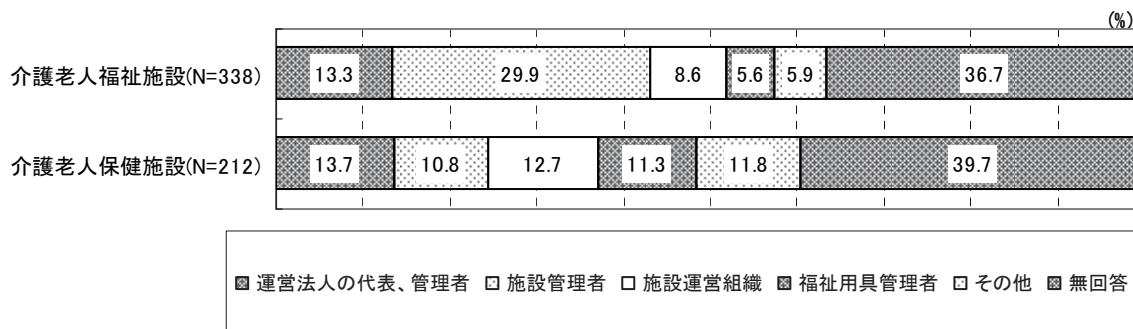
図表 23 施設による福祉用具の調達方法



4) 調達実施の判断

福祉用具調達の実務的判断を行うのは「不明」が4割弱で最も多かった。介護老人福祉施設では「施設管理者」も3割弱を占めた。全体として特にいずれかの職種に回答が集まる傾向は見られない。

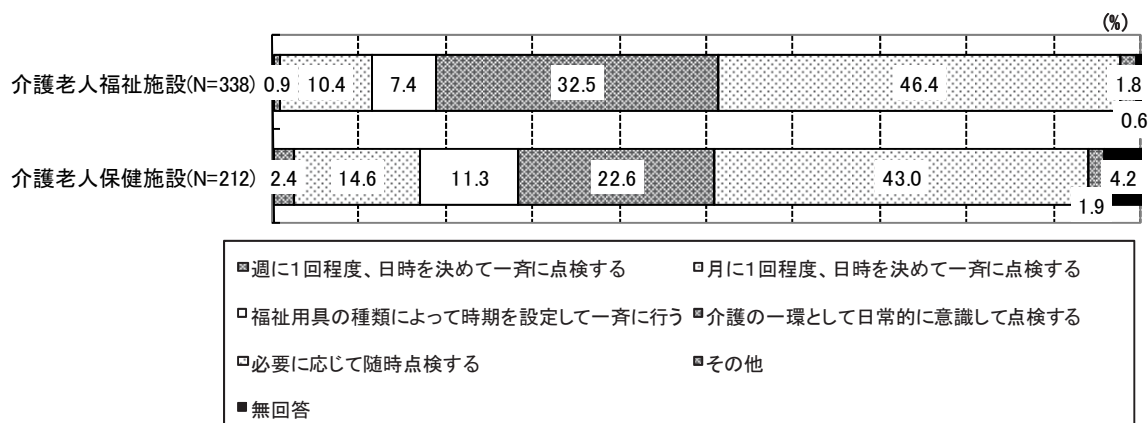
図表 24 調達実施の実務的判断をする人



5) 管理・メンテナンスの実施状況

福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況は「必要に応じて随時点検する」が約4割、「介護の一環として日常的に意識して点検する」が約3割であった。いずれも介護老人福祉施設でこの傾向が強い。

図表 25 福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況

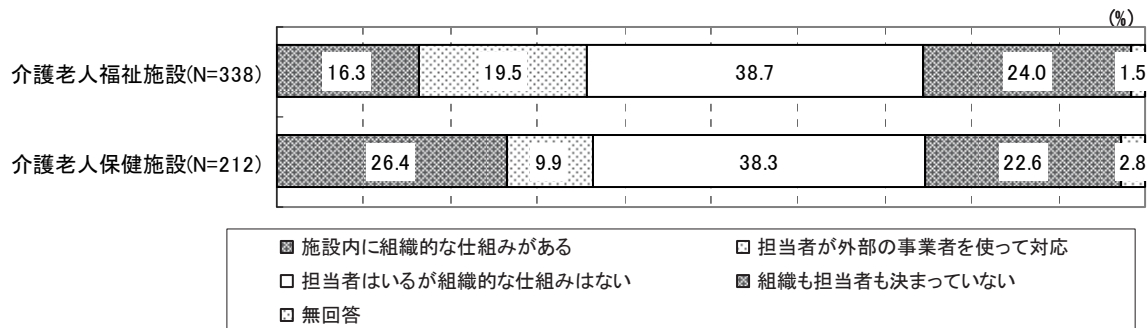


6) 管理・メンテナンスの仕組み

管理・メンテナンスの仕組みとしては「担当者はあるが組織的な仕組みはない」が4割弱、「組織も担当者も決まっていない」が2割強を占めており、全体として組織的な取組体制は弱い。

その中で介護老人保健施設では「施設内に組織的な仕組みがある」も26.4%を占めており、組織的に対応している施設も一定数あることがわかる。

図表 26 管理、メンテナンスの仕組みと体制

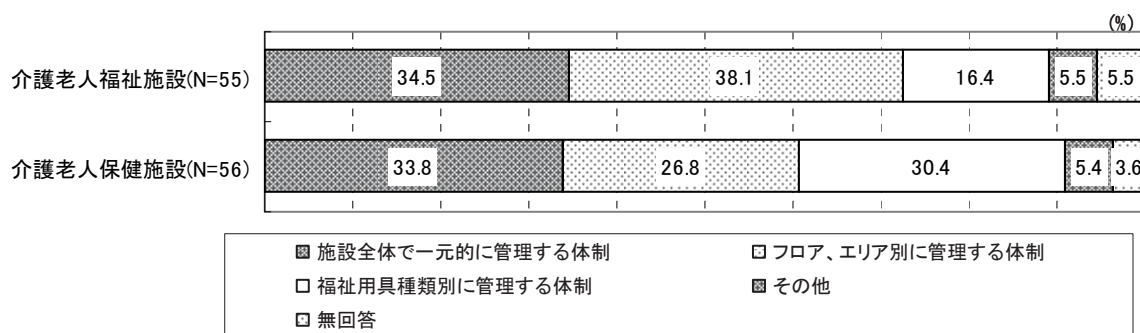


7) 管理の組織体制

組織体制は、介護老人福祉施設では「施設全体で一元的に管理する体制」が 34.5%、「フロア、エリア別に管理する体制」が 38.1%を占めており、福祉用具も施設管理あるいはフロア管理の一貫として管理される傾向にあることが伺われる。

介護老人保健施設では「フロア、エリア別に管理する体制」と並んで「福祉用具種類別に管理する体制」がそれぞれ 30%近くを占めており、福祉用具の種類別の特性を意識した管理を行っている施設が 1 / 3 程度あることが伺われる。

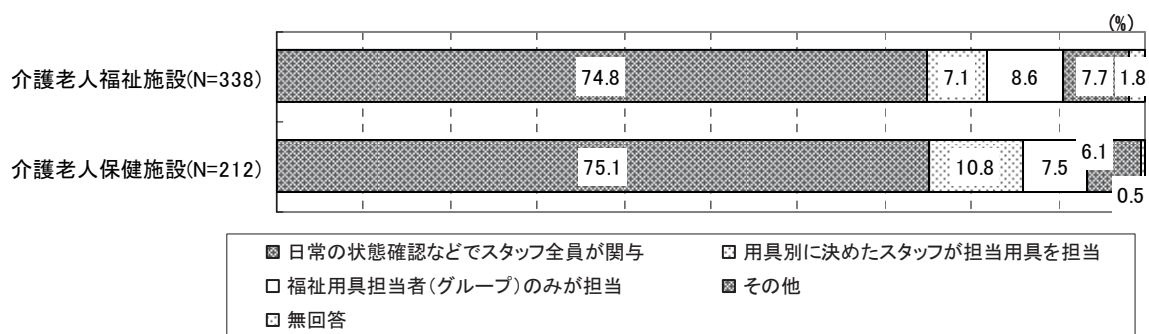
図表 27 組織体制



8) 介護スタッフの関与

管理、メンテナンスへの介護スタッフの関与状況については「日常の状態確認などでスタッフ全員が関与」が 75%を占めた。

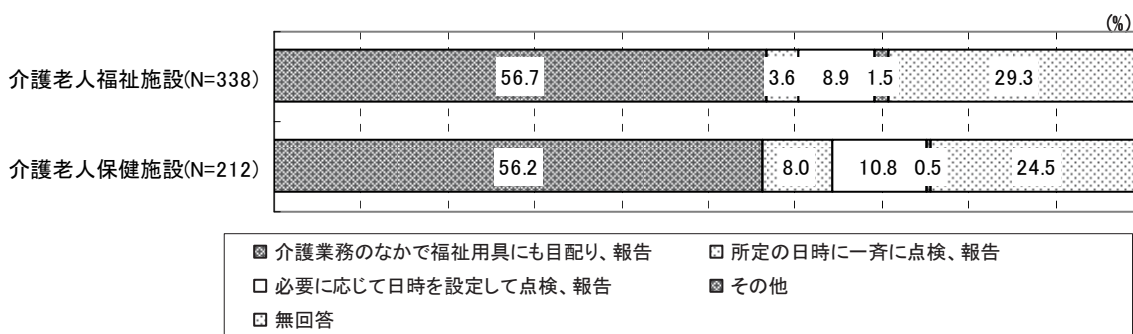
図表 28 管理、メンテナンスへの介護スタッフの関与状況



9) 介護スタッフの関与の仕方

その関与の仕方については「介護業務のなかで福祉用具にも目配り、報告」が過半数を占めた。また、「不明」(無回答)も3割弱を占めており、介護スタッフの関与の仕方が明確に意識されていない状況も少なくないことが想定される。

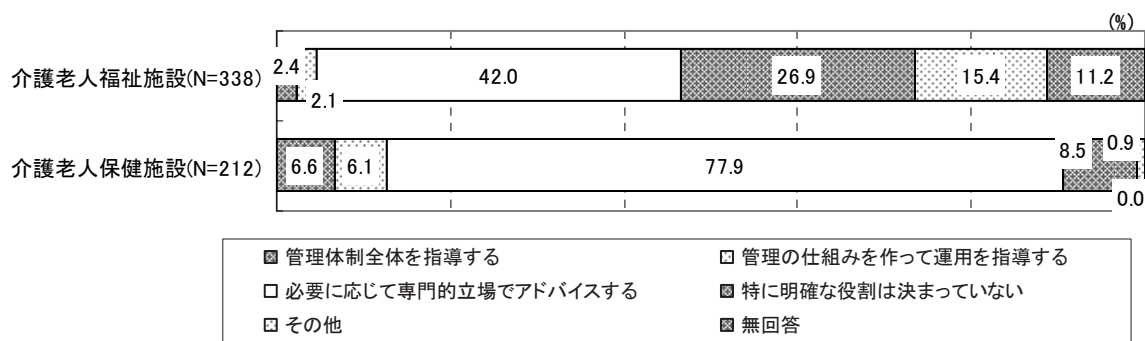
図表 29 関与の仕方



10) リハビリテーション専門職の関与の仕方

P T、O Tなどリハビリテーション専門職の関与の仕方は、介護老人福祉施設では「必要に応じて専門的立場でアドバイスする」4割強と、「特に明確な役割は決まっていない」3割弱に分かれたが、介護老人保健施設では「必要に応じて専門的立場でアドバイスする」が8割近くを占め、対応の違いが見られた。

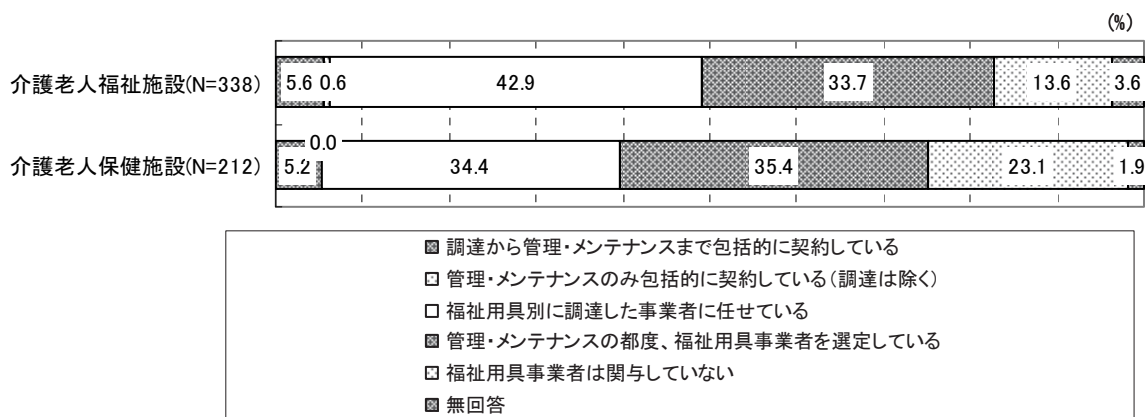
図表 30 P T、O Tなどリハ専門職の関与の仕方



11) 福祉用具事業者の関与

管理・メンテナンスへの福祉用具事業者の関与については、介護老人福祉施設では「福祉用具別に調達した事業者には任せている」が4割強を占めた。介護老人保健施設では「管理・メンテナンスの都度、福祉用具事業者を選定している」が4割弱、「福祉用具別に調達した事業者には任せている」が3割強、「福祉用具事業者は関与していない」が2割強を占めた。

図表 31 管理・メンテナンスへの福祉用具事業者の関与

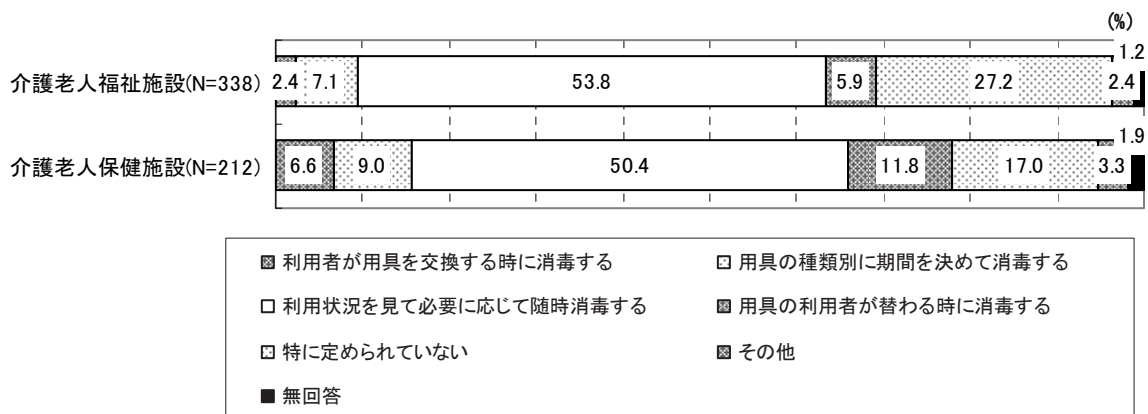


12) 福祉用具の消毒

福祉用具の消毒は、「利用状況を見て必要に応じて随時消毒する」が5割強を占めた。その一方で、「特に定められていない」との回答が1/4程度を占めており、消毒に対する認識の低い施設も一定数あることが把握された。

「利用者が用具を交換する時に消毒する」ことについては、在宅では福祉用具貸与サービスで100%消毒されていることから、消毒に対する在宅サービスとの意識に大きな差がある。施設としては、福祉用具利用者が入所者に特定されていることから基本的な衛生管理ができていているとの認識があると考えられるが、高齢者施設で毎年ノロウィルス、インフルエンザの感染が発生していることなどを考えると、消毒に関する意識は均一ではないと考えられる。

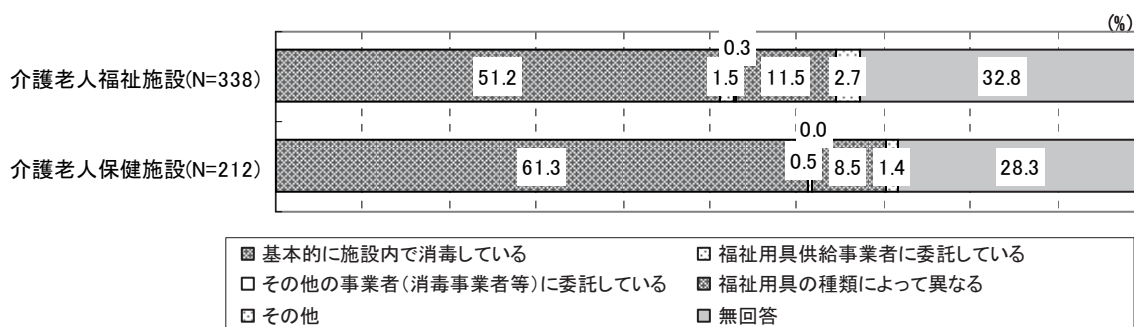
図表 32 福祉用具の消毒



13) 消毒の担当者

福祉用具の消毒を行っている人については、「基本的に施設内で消毒している」が過半数を占めた。一方で、「不明」も3割程度を占めており、消毒の実施体制が不明確な施設もあることが把握された。

図表 33 消毒をする人



福祉用具の管理・メンテナンスの体制に関するまとめ

【用具の計画的整備】

- 福祉用具の整備を計画的に行っている施設は3割程度、そのうち年度計画に沿って整備しているのは2割程度であり、ごく少数にとどまっている。【図表 21】
- 計画的整備を行っている施設の整備目標は「状態像に合わせた自立支援の実現」が6割を占めている。「介護負担の軽減」を目標とする施設は介護老人福祉施設でやや多い傾向が見られた。【図表 22】
- 福祉用具調達7割は購入であるが、実質的な調達判断の担当者は「不明」が多く、調達の仕組みが不明確であった。【図表 23、図表 24】

→福祉用具の整備を計画的に取り組んでいる施設は少数であり、「状態像に合わせた自立支援の実現」の具体的な手段が確立されていない状況である。

【管理・メンテナンスの現状】

- ・ 管理・メンテナンスは、担当者はいても組織的な対応がされていない施設が多い。

【図表 26】

- ・ 管理・メンテナンスの仕組み、体制は、介護老人福祉施設に較べると介護老人保健施設では担当する組織を明確にしている例が多い、福祉用具種類別管理を行っている割合が多いなど、福祉用具の特性を踏まえた管理を行う傾向が見られた。

【図表 26】【図表 27】

- ・ リハ専門職の役割も「必要に応じて指導」ととどまっており、福祉用具の管理に関して組織的な位置づけ、役割が設定されている施設は少ない。**【図表 30】**
- ・ リハ専門職が福祉用具に関して「必要に応じて専門的アドバイスを行う」のは、介護老人福祉施設では4割程度にとどまるが、介護老人保健施設では8割近くに達しており、リハ専門職の役割の違いがみられる。**【図表 30】**
- ・ 福祉用具事業者の関与については、「福祉用具別に調達した事業者に任せている」「管理・メンテナンスの都度、福祉用具事業者を選定している」が大半を占めており、施設としては「何かあったらその都度、対応してもらおう」状況で、継続的に目標を共有しながら関与するような関係にはなっていない。**【図表 31】**
- ・ 消毒に対する認識の低い施設も一定数あることが把握された。**【図表 32】**
- ・ 施設内での福祉用具の管理・メンテナンスは消毒も含めて、介護作業の一部程度の位置づけで、役割分担が明確になっていない施設が多い。**【図表 28、図表 33】**

→一部にはきちんとした管理を行っている施設があるものの、多くの高齢者施設では福祉用具の管理・メンテナンスは、施設の管理運営業務の中で1つの独立した分野として認識されていない状況と考えられる。

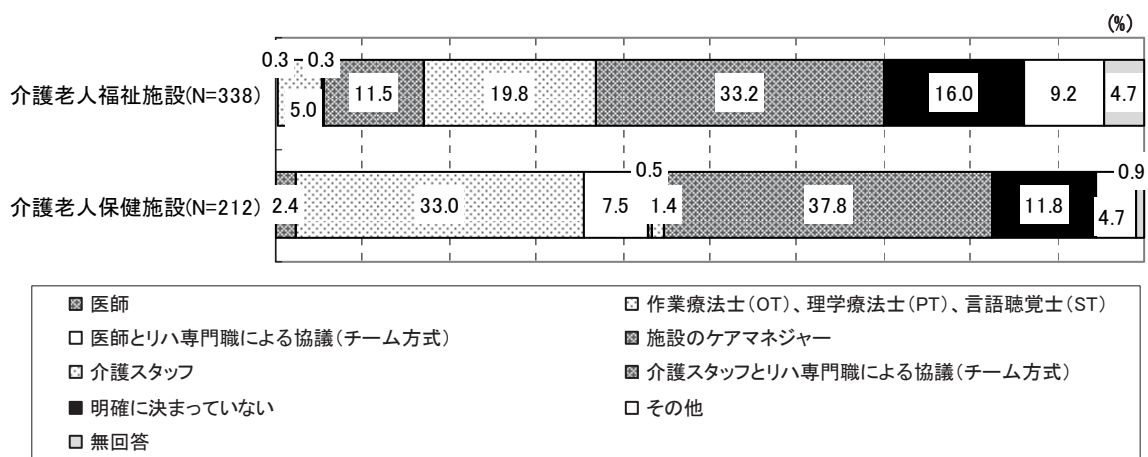
→介護老人保健施設は介護老人福祉施設に較べると、福祉用具の管理を組織的に行う施設が多く、福祉用具の種類別管理の割合も多く、リハセラピストが専門的な立場からアドバイスする役割も多い。これは、介護老人保健施設が在宅復帰を前提とした施設であるため、介護老人福祉施設に較べて入所・退所による利用者の出入りが比較的多く、福祉用具の調整機会も多いためと考えられる。この特性の違いが福祉用具の管理・メンテナンスの仕組みの違いとなっている部分がある。

(4) 福祉用具の適用判断、利用指導について

1) 必要性の判断をする人

介護老人福祉施設では、入所者に対する実質的な福祉用具の必要性の判断をする人は、「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」が3割強を占め、「次いで介護スタッフ」が2割であり、「作業療法士、理学療法士、言語聴覚士」は5.0%であった。一方、介護老人保健施設では「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」「作業療法士、理学療法士、言語聴覚士」がそれぞれ3割強を占めており、施設特性の違いを反映した結果となっている。

図表 34 入所者に対する実質的な福祉用具の必要性の判断をする人



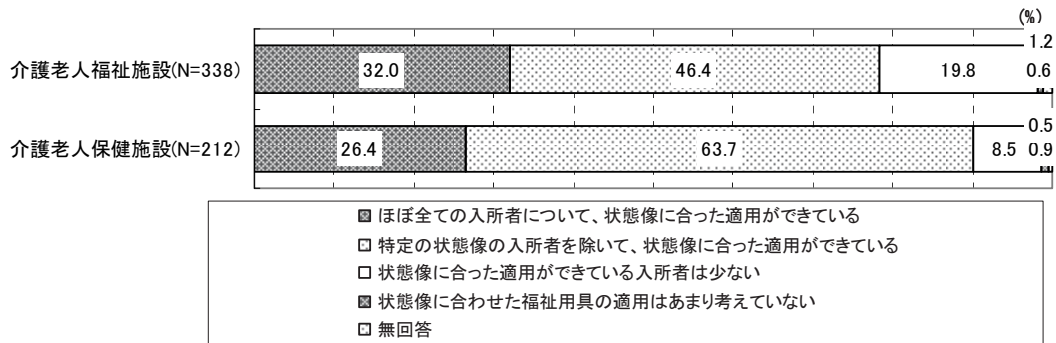
2) 入所時点での適合状況

入所者の状態像に合った福祉用具の適用ができていないかについて、介護老人福祉施設では入所時点で「ほぼ全ての入所者について、状態像に合った適用ができていない」は3割強であり、「状態像に合った適用ができていない入所者は少ない」も2割を占めた。7割近くの施設では、入所時点で適用ができていない利用者を抱えている。

介護老人保健施設は、入所時点で「ほぼ全ての入所者について、状態像にあった適用ができていない」のは3割弱にとどまり、入所時点で適用ができていない利用者を抱える施設の割合はさらに多い。

全体に状態像に合った適用はある程度できているとの回答であり、適用をかなり意識している姿勢が現れていることは評価できる。しかし委員からは、適用を意識していても必ずしも有効に使えていない、適切な用具が入手できないといった状況が多いことが指摘されており、実態としては適用できていない状況があることにも留意が必要である。

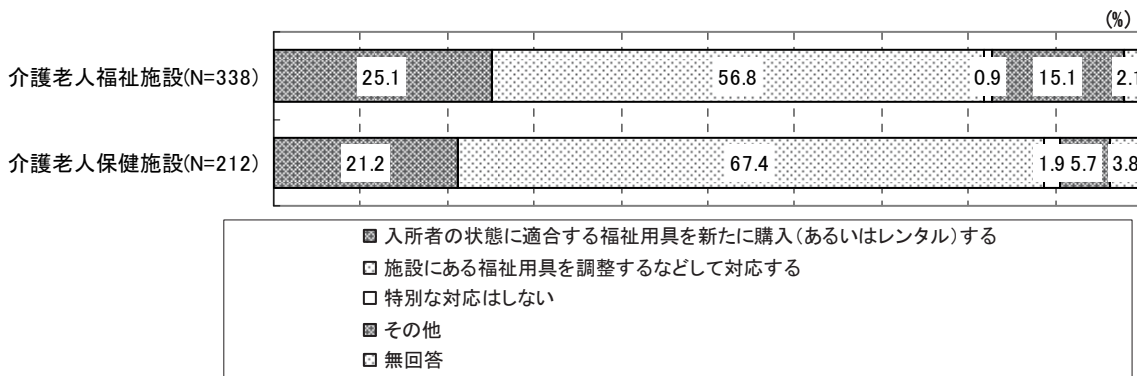
図表 35 入所時点で、入所者の状態像に合った福祉用具の適用ができていないか



3) 状態像に合った適用ができない場合の対処

施設にある福祉用具では状態像に合った福祉用具の適用ができない場合の対処としては、「施設にある福祉用具を調整するなどして対応する」が約6割（介護老人保健施設では6割強）で大勢を占めているが、「入所者の状態に適合する福祉用具を新たに購入（あるいはレンタル）する」も2割強を占めており、入所者への対応姿勢の異なる施設があることが把握された。

図表 36 施設にある福祉用具では状態像に合った福祉用具の適用ができない場合の対処



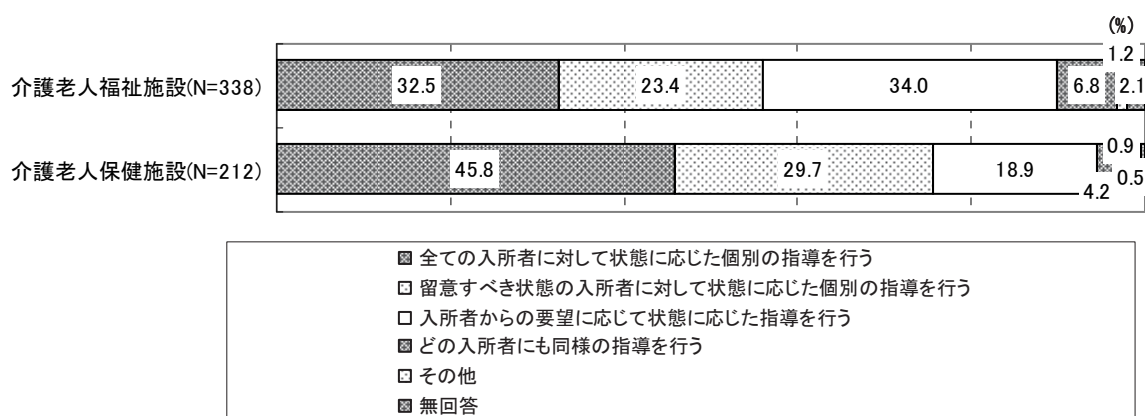
4) 使い方指導の方法

入所時の福祉用具の使い方指導の方法は、介護老人福祉施設では「入所者からの要望に応じて状態に応じた指導を行う」が最も多く 34.0%を占め、次いで「全ての入所者に対して状態に応じた個別の指導を行う」が 32.5%をしめた。全ての入所者に積極的にかかわる施設と要望に応じて受け身で指導する施設と分かれた形となった。要望に応じて受け身で指導する施設について委員からは、在宅で使っていた用具が持込まれた場合は指導を省略しているなどの状況があるの

ではないかとの指摘があった。

介護老人保健施設では「全ての入所者に対して状態に応じた個別の指導を行う」が 45.8%を占め、「入所者からの要望に応じて状態に応じた指導を行う」はその半数程度であり、福祉施設よりも「全ての入所者に対して個別の指導を行う」ことへの取組が進んでいる。リハビリテーション専門職の配置が義務づけられている施設の特性が現れた結果となった。

図表 37 入所時の福祉用具の使い方指導の方法

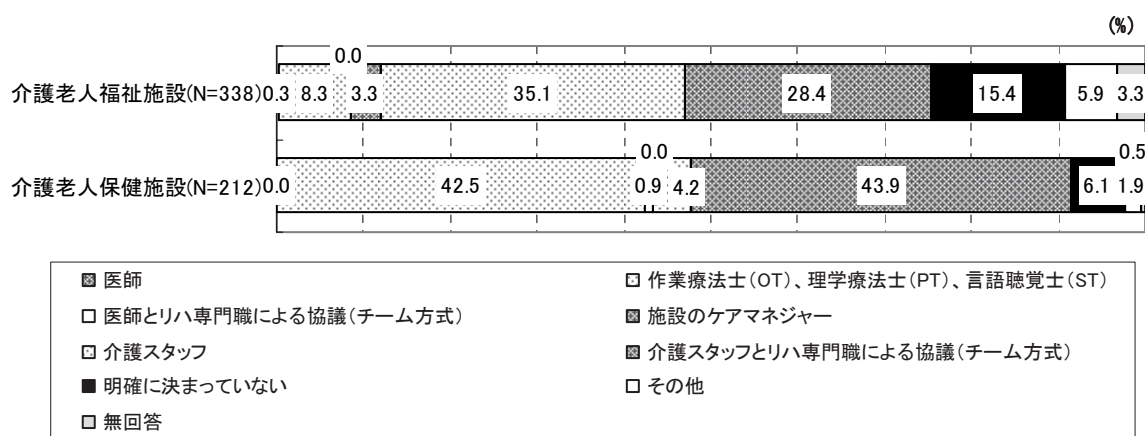


5) 使い方の指導をする人

入所者への使い方の指導をする人は、介護老人福祉施設では「介護スタッフ」が3割強を占め、「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」は3割弱にとどまった。

介護老人保健施設では「作業療法士、理学療法士、言語聴覚士」、「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」がそれぞれ4割強を占め、リハ専門職の関与が普及している。

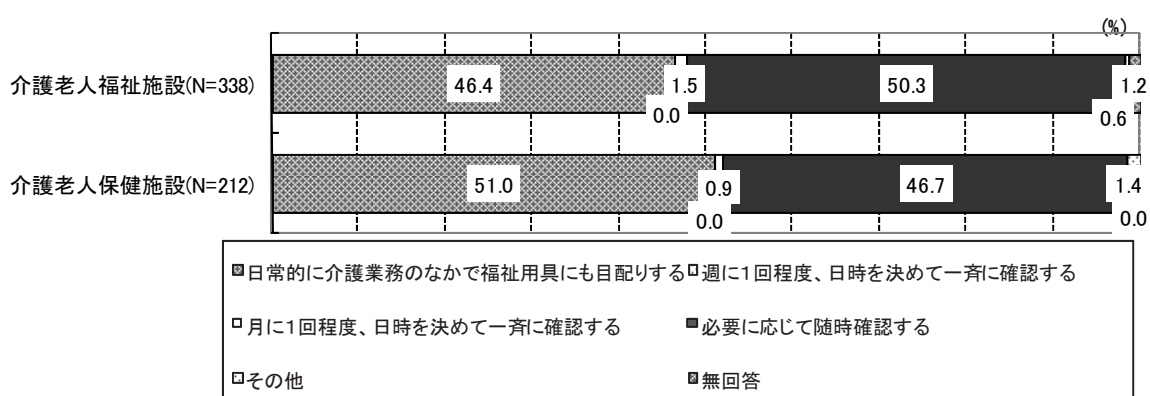
図表 38 入所者への使い方の指導をする人



6) 変更・調整の必要性の確認の方法

入所中に福祉用具の変更・調整の必要性の確認をする方法は、「必要に応じて随時確認する」、「日常的に介護業務のなかで福祉用具にも目配りする」がそれぞれ5割弱を占めた。「週に1回程度日時を決めて一斉に確認する」との回答はなく、「月に1回程度日時を決めて一斉に確認する」施設の7施設にとどまっており、定期的を確認することの重要性がほとんど意識されていない状況であることが分かった。

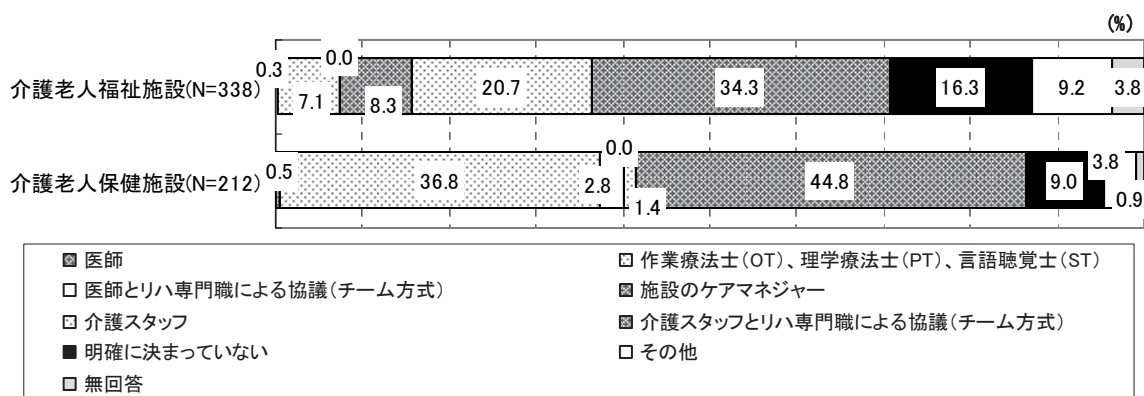
図表 39 入所中に、福祉用具の変更・調整の必要性の確認をする方法



7) 見直しの判断をする人

入所中の福祉用具利用の見直しの判断をする人は、全体では「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」が4割弱を占めた。また、介護老人保健施設では「介護スタッフとリハ専門職による協議（チーム方式）」が5割弱、「作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語聴覚士（ST）」が4割弱を占めている。

図表 40 入所中の福祉用具利用の見直しの判断をする人

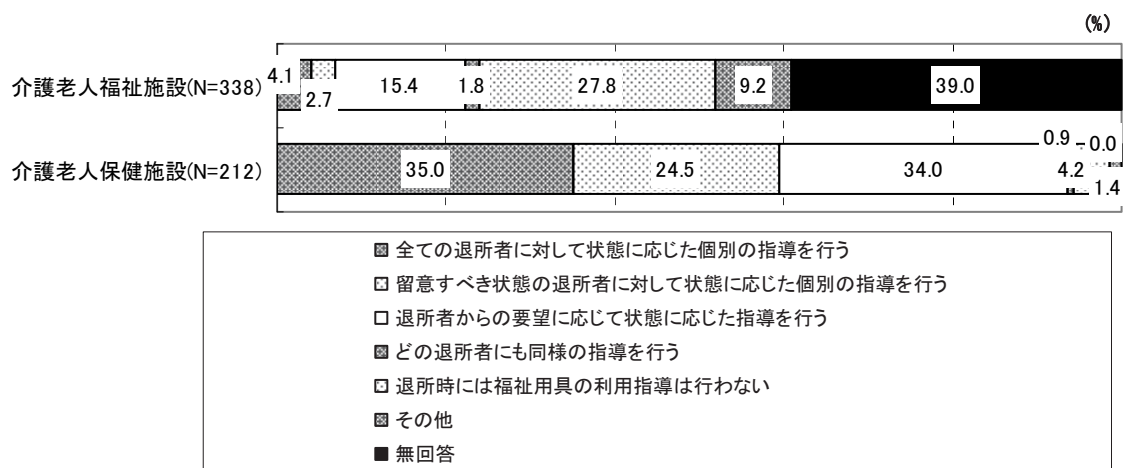


8) 退所後の利用指導

退所前に、退所後の福祉用具利用指導を行っているかについて、介護老人福祉施設では「不明」が4割弱、「退所時には福祉用具の利用指導は行わない」が3割弱と多いが、これは福祉施設では死亡退所者以外の退所者が基本的に少ないためと考えられる。

介護老人保健施設では「退所者からの要望に応じて状態に応じた指導を行う」、「全ての退所者に対して状態に応じた個別の指導を行う」がそれぞれ3割強、「留意すべき状態の退所者に対して状態に応じた個別の指導を行う」も2割強を占めており、ほとんどの施設が何らかの形で退所時にも福祉用具利用指導を行っている。

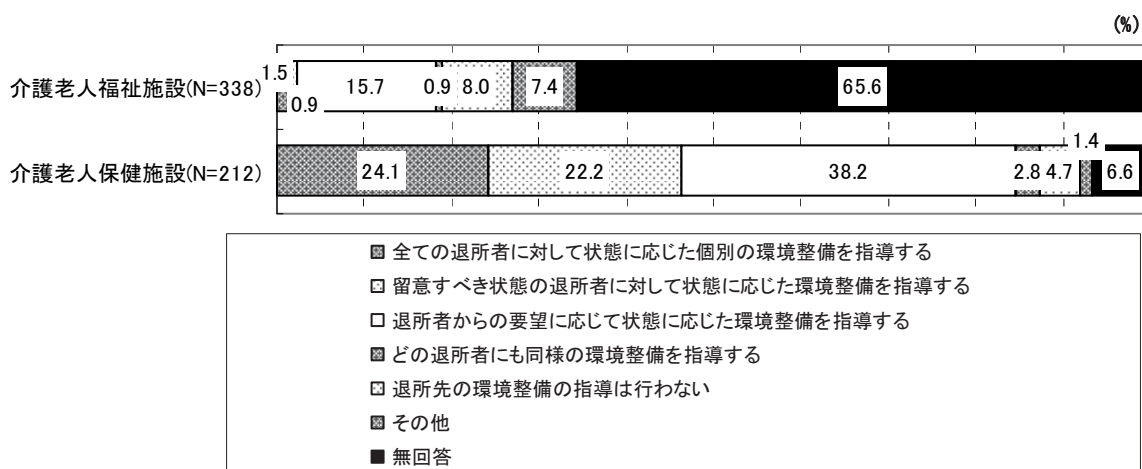
図表 41 退所前に、退所後の福祉用具利用指導を行っているか



9) 退所先での利用環境整備

退所時に福祉用具利用指導を行うに際して、退所先での利用環境整備まで指導しているかについては、介護老人保健施設では「退所者からの要望に応じて状態に応じた環境整備を指導する」が4割弱、「全ての退所者に対して状態に応じた個別の環境整備を指導する」が2割強を占めていた。介護老人福祉施設では、退所者の例が少ないことから「不明」（無回答）とする割合が高いことが想定されたが、「退所者からの要望に応じて状態に応じた環境整備を指導する」が約2割であった。

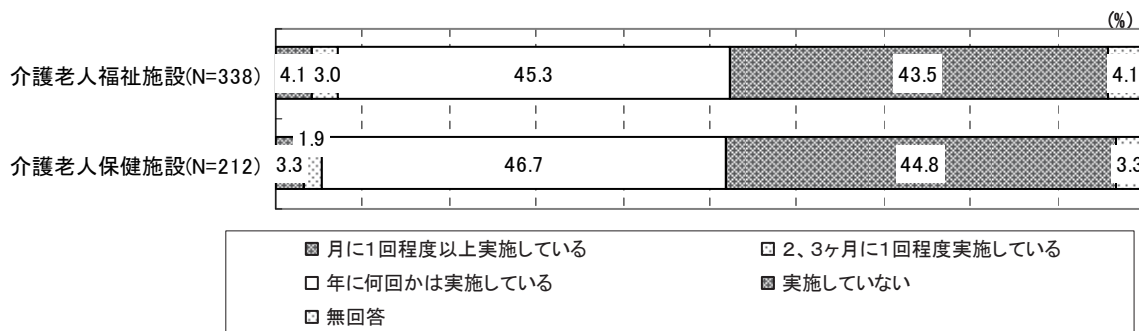
図表 42 退所時に福祉用具利用指導を行うに際して、退所先での利用環境整備まで指導しているか



10) 職員向けの研修

職員向けの研修の方法をどのように行っているかについては、「年に何回かは実施している」が5割弱、「実施していない」が4割強を占めた。福祉用具に関する研修を定期的に行っている施設は少数（10%以下）にとどまっている。

図表 43 職員向けの研修の方法



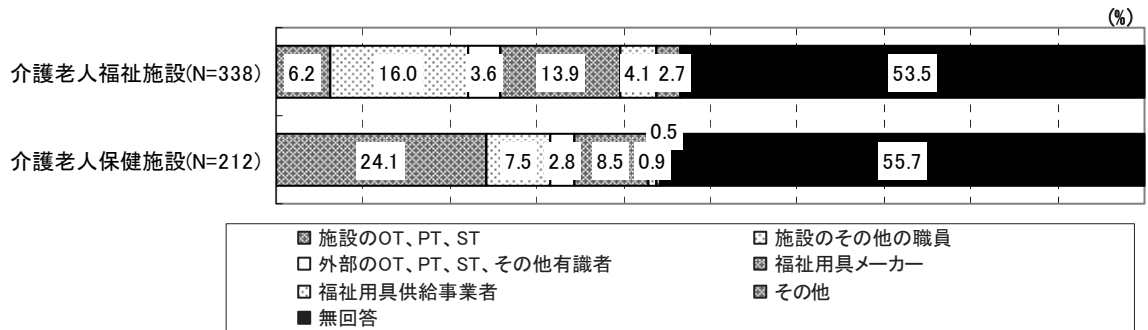
11) 研修の講師

研修の講師は「施設のOT・PT・ST」、「施設のその他の職員」、「福祉用具メーカー」が10%台でほぼ同程度となった。

介護老人福祉施設では「施設のその他の職員」、「福祉用具メーカー」がやや多い。

介護老人保健施設では「施設のOT・PT・ST」が20%を超えて多くなっている。

図表 44 研修の講師

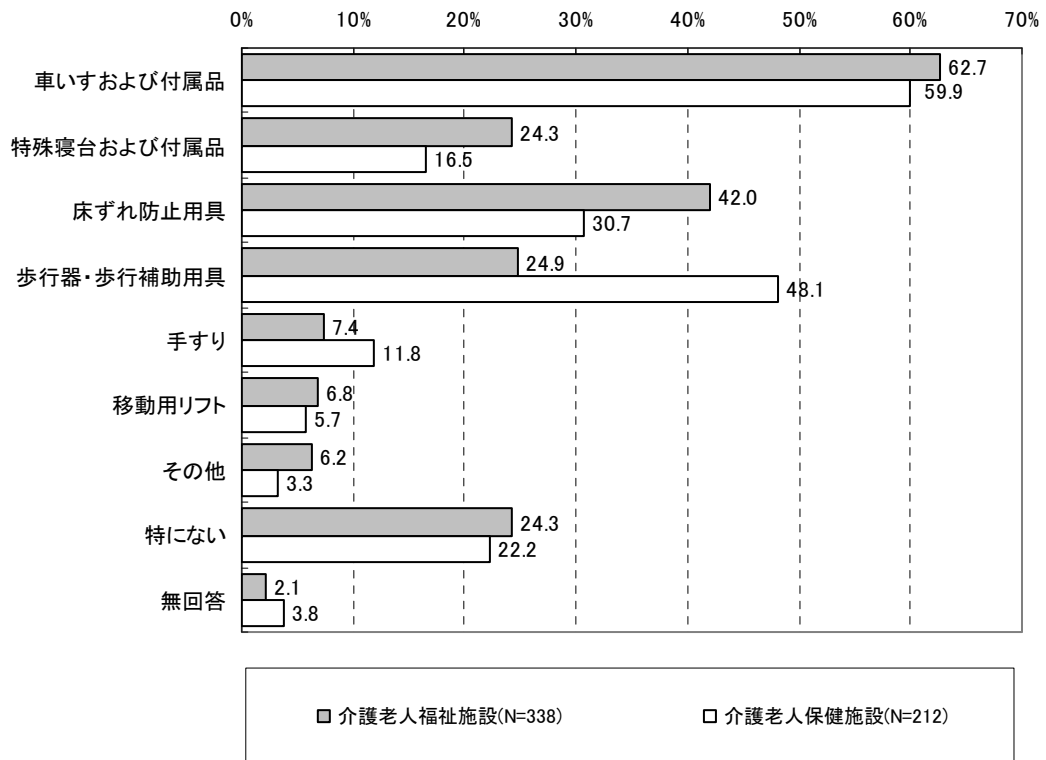


12) 重点的に指導している福祉用

施設として適用、利用指導を特に重点的に行っている福祉用具は、全体では「車いすおよび付属品」が6割強、「床ずれ防止用具」が4割弱、「歩行器・歩行補助用具」が3割強をしめた。

施設種別の特徴としては介護老人福祉施設では「車いすおよび付属品」に次いで「床ずれ防止用具」が42.0%、介護老人保健施設では「歩行器・歩行補助用具」が48.1%を占めた。

図表 45 施設として、適用、利用指導を特に重点的に行っている福祉用具



福祉用具の適用判断、利用指導に関するまとめ

【入所時について】

- ・入所者に対する実質的な福祉用具の必要性の判断は、介護老人福祉施設では介護職中心、介護老人保健施設ではリハ専門職中心に行われている。【図表 34】
- ・介護老人福祉施設では、入所時点で「状態像に合った適用ができていない入所者は少ない」との回答が2割程度あった。【図表 35】
- ・介護老人保健施設では「ほぼ全ての入所者について、状態像に合った適用ができていない」よりも「特定の状態像の入所者を除いて、状態像に合った適用ができていない」の方が多い結果となったが、これはリハ専門職の配置が義務づけられているためと考えられる。【図表 35】
- ・状態像に合った適用ができない場合の対処として「入所者の状態に適合する福祉用具を新たに購入（あるいはレンタル）する」施設は2割程度である。（介護老人福祉施設、介護老人保健施設に共通）【図表 36】
- ・介護老人保健施設では「全ての入所者に対して状態に応じた個別の指導を行う」が45.8%を占め、介護老人福祉施設よりも「全ての入所者に対して個別の指導を行う」ことへの取組が進んでいる。【図表 37】
- ・使い方の指導について、介護老人福祉施設ではリハ専門職の関与は3割程度の施設で介護スタッフとの協議を通じて関与している程度であるが、介護老人保健施設ではほとんどの施設でリハ専門職が関与している。リハ専門職のみで指導する施設も4割を超えている。【図表 38】

- 福祉用具の適用判断、利用指導の体制については、リハ専門職の配置が義務づけられている介護老人保健施設と、義務づけられていない福祉施設との違いが大きい。
- 介護老人保健施設では福祉用具の適用判断、利用指導に関してリハ専門職中心に対応する体制となっているが、福祉施設では介護職中心の対応である。
- 介護老人保健施設でも、リハ専門職中心に対応する施設と、リハ専門職と介護職との協議（チーム体制）で対応する施設とが半々の状況である。
- 職種をまたいだチーム体制で利用指導を行う施設は「全て」あるいは「半数以上」の入所者（退所者）への指導を行っている割合が高い。

【入所後の対応】

- ・使用している福祉用具の変更・調整の必要性の確認を介護業務の中で日常的に行っている施設は半分程度である。【図表 39】
- ・福祉用具の見直しを行う人は入所時と同じく、福祉施設では介護職中心、保健施設ではリハ専門職中心の対応となっている。【図表 40】
- ・介護老人保健施設では、ほとんどの施設が退所時も何らかの形で福祉用具の利用指導を行っているが「全ての退所者」を対象としているのは3割程度。退所先の利用環境整備の指導についてもほぼ同様の対応が成されている。【図表 41】
- ・介護老人福祉施設の場合は通常は退所者の想定がないため、「退所時指導はしない」あるいは無回答が多くなっているが、「退所者からの要望に応じて指導する」との回答も2割程度はある。【図表 42】

→入所後の対応についても、入所者の退所を前提とする介護老人保健施設と前提としない介護老人福祉施設では対応の方針が異なっている。

→退所することを通常とする介護老人保健施設では、基本的に退所時の福祉用具指導を行っている。

【研修】

- ・4割の施設は職員向けの福祉用具の利用に関する研修を実施していない。【図表 43】
- ・実施している施設でも年に数回程度の施設が半数近くを占めており、継続的、定期的に行っている施設は少数にとどまっている。【図表 43】
- ・リハ専門職が配置されている介護老人保健施設でも内部の専門職が研修講師を勤める施設は2割程度であり、積極的に取り組んでいるという状況ではない。【図表 44】

→福祉用具の利用に関する技術、知識は、多くの施設において、研修により職員に普及を図るべき技術・知識のとしての位置づけが認められていない。

【重点的に指導する福祉用具】

- ・施設内で重点的に利用指導している福祉用具は、起居、移動に関する用具と床ずれ防止用具が中心となっている。【図表 45】
- ・特に重視する用具はないとの回答も2割以上である。【図表 45】

→施設で利用指導する用具の種類は起居、移動に関する用具などの分野に限られている。こうした状況に対して「施設のリハビリテーション専門職は福祉用具をあまりよく知らない」との評価になっていると考えられる。

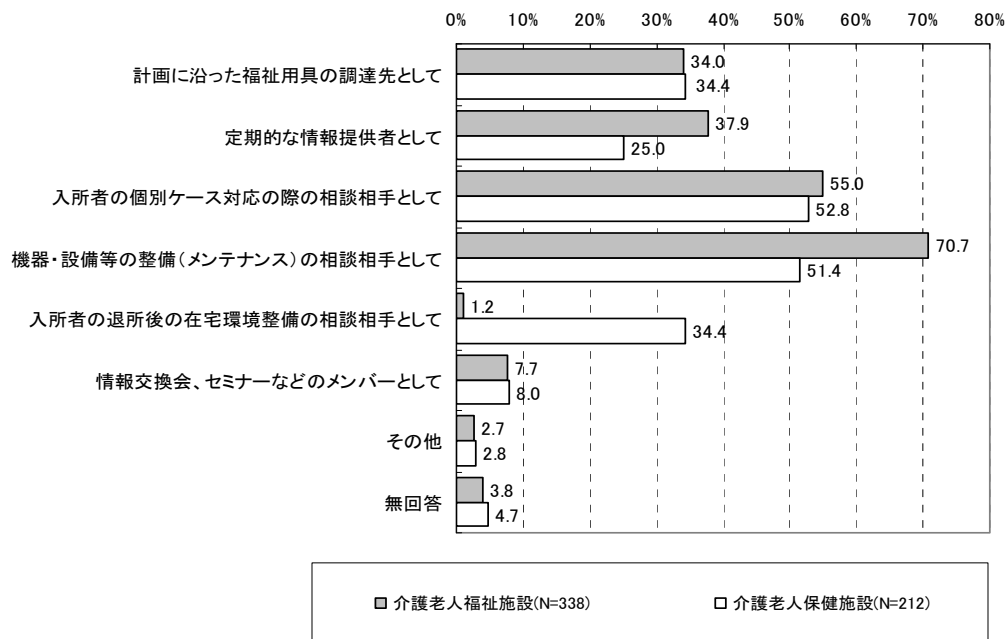
(5) 福祉用具供給事業者との連携について

1) 福祉用具事業者との接触機会

福祉用具事業者と接触がある場合の主な機会は、「機器・設備等の整備（メンテナンス）の相談相手として」が介護老人福祉施設で約 7 割、介護老人保健施設で約 5 割、「入所者の個別ケース対応の際の相談相手として」がいずれも約 5 割、「計画に沿った福祉用具の調達先として」がいずれも約 3 割を占めた。

「定期的な情報提供者として」は介護老人福祉施設では 4 割近くとなったが、介護老人保健施設では 2 割強にとどまり、「入所者の退所後の在宅環境整備の相談相手として」はほぼ介護老人保健施設のみの回答となるなど、項目によっては回答傾向が異なった。

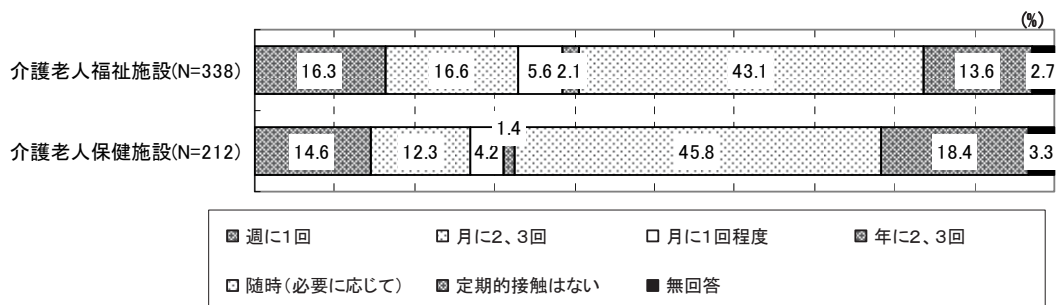
図表 46 福祉用具事業者と接触がある場合の主な機会



2) 福祉用具事業者との定期的接触機会

福祉用具供給事業者との定期的な接触機会は、「随時（必要に応じて）」が 4 割強を占めた。介護老人福祉施設では、次いで、「週に 1 回」「月に 2、3 回程度」が 2 割弱であり、介護老人保健施設では、「定期的接触はない」が 2 割弱であった。

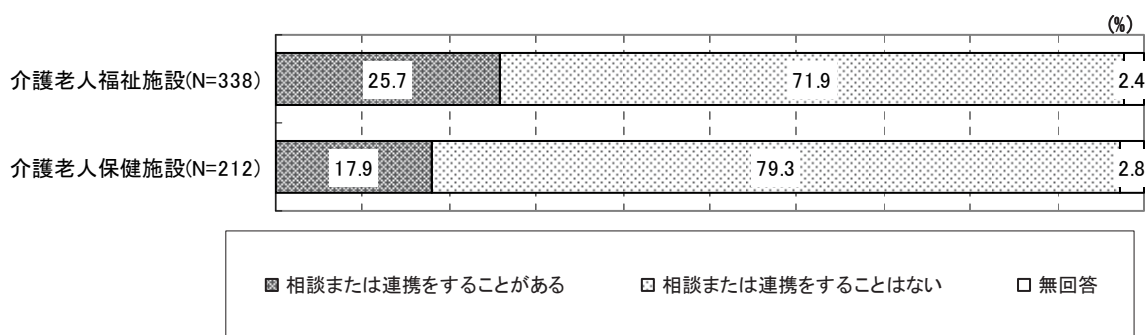
図表 47 福祉用具供給事業者との定期的な接触機会



3) 入所前における福祉用具事業者との連携

入所時における入所前生活環境確認に関して、福祉用具供給事業者と相談または連携することがあるかについては、「相談または連携をすることがある」は2割程度にとどまっている。

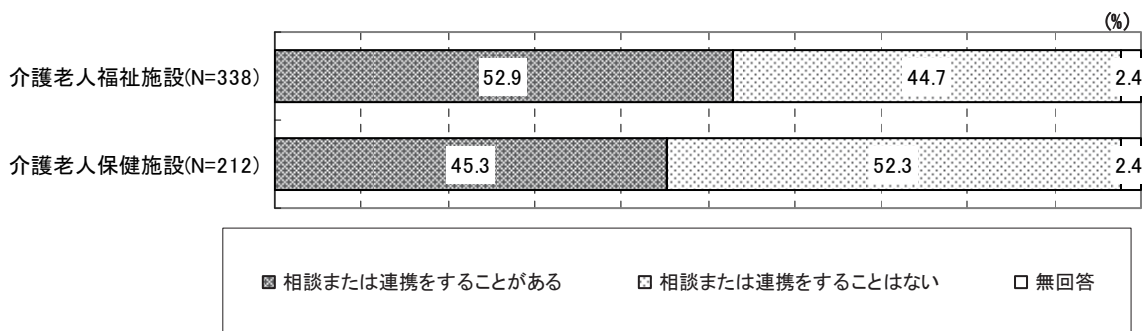
図表 48 入所時における入所前生活環境確認に関して、福祉用具供給事業者と相談または連携



4) 自立支援に関する相談

入所者の入所中の自立支援に関しては、「相談または連携をすることがある」が全体で5割を占めた。介護老人保健施設では5割弱でやや少ない。

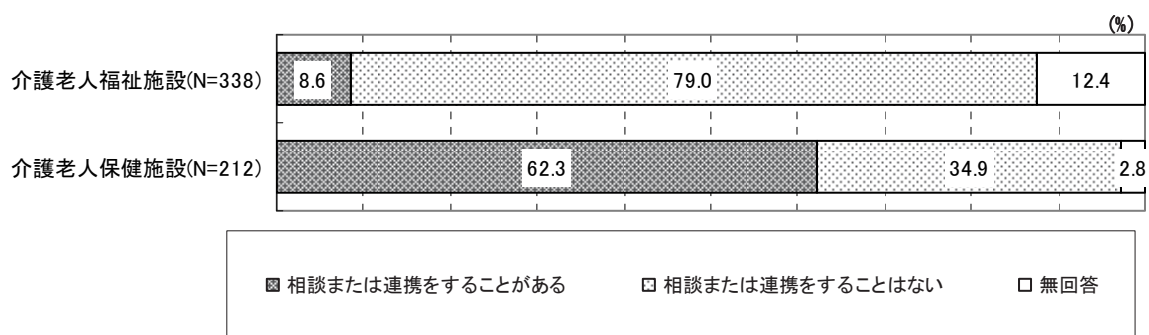
図表 49 入所者の入所中の自立支援に関して、福祉用具供給事業者と相談または連携



5) 退所後における福祉用具事業者との連携

退所時における退所後生活環境整備に際しては、介護老人福祉施設では「相談または連携をすることはしない」が8割弱を占めた。一方、介護老人保健施設では「相談または連携をすることがある」が6割強を占めた。

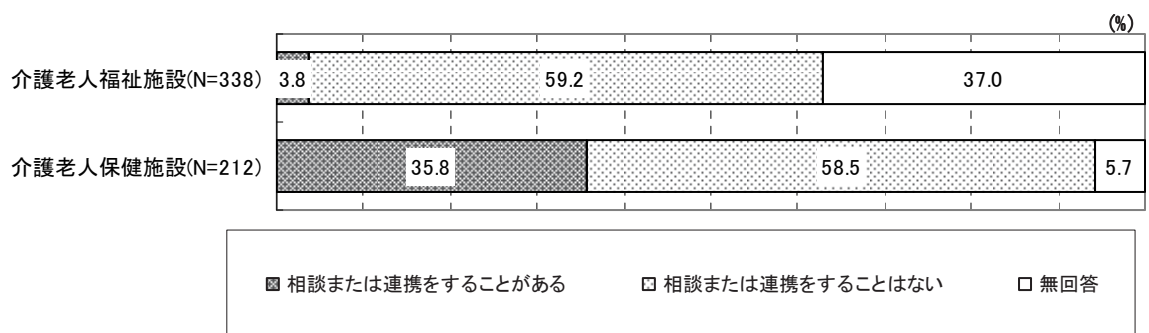
図表 50 退所時における退所後生活環境整備に際して、福祉用具供給事業者と相談または連携



6) 退所して在宅に移行した後の状況のフォロー

退所して在宅に移行した後の状況のフォローについては、介護老人福祉施設では「相談または連携をすることはしない」が6割弱、介護老人保健施設では「相談または連携をすることがある」が4割弱を占めていた。

図表 51 退所して在宅に移行した後の状況のフォローについて、福祉用具供給事業者と相談または連携



福祉用具供給事業者との連携についてのまとめ

【連携の主な機会と頻度】

- ・福祉用具事業者と接触がある場合の主な機会は、「機器・設備等の整備（メンテナンス）の相談相手として」と「入所者の個別ケース対応の際の相談相手として」が中心。**【図表 46】**
- ・「定期的な情報提供者として」と「計画に沿った福祉用具の調達先として」との回答は3割強にとどまった。**【図表 46】**
- ・また、月に複数回の接触機会を設けている施設は3割程度にとどまっている。**【図表 47】**

→福祉用具事業者との相談、連携は「必要が生じた時」の都度対応のパターンが主流とみられる。

→入所者の変化にきめ細かく対応する視点が重視されるようになると、定期的な接触機会の拡大につながる可能性があるのではないかと。

→福祉用具事業者は福祉用具に関する豊富な情報を持っており、施設としてはうまく連携して事業者の知見を活用すればよい。そのためには連携の仕組みを整えておくことが重要である。

【連携の時期】

- ・入所者の自立支援の相談または連携は半数の施設では行われていない。**【図表 49】**
- ・介護老人保健施設では、退所時の退所後生活環境整備に関する相談、連携している施設が多い。**【図表 50】**
- ・介護老人保健施設では、退所後のフォローで相談、連携している施設も3割程度ある。**【図表 51】**

→介護老人保健施設では、福祉用具事業者と連携して退所後の生活環境整備までフォローする取組がある程度定着している。

→入所者の生活の連続性を維持する視点が重視されるようになると、入所前の生活環境確認の段階から福祉用具事業者と相談、連携する機会が拡大する可能性があるのではないかと。

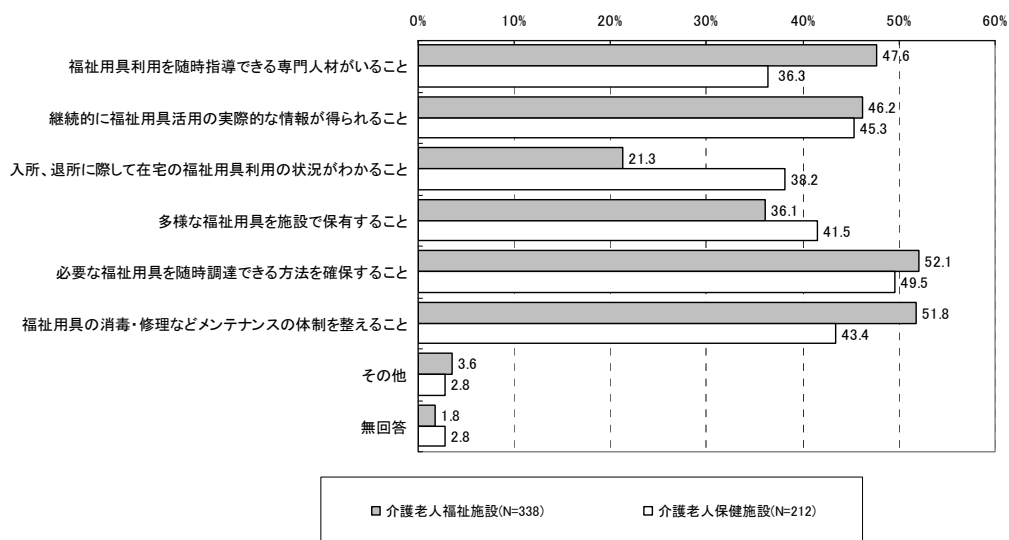
(6) 施設における福祉用具利用の課題について

1) 福祉用具活用を進めるための条件

自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件は、介護老人福祉施設では「福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること」、「継続的に福祉用具活用の実践的な情報が得られること」、「必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること」、「福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること」がそれぞれ約5割を占めた。

介護老人保健施設では「継続的に福祉用具活用の実践的な情報が得られること」、「必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること」が5割弱を占めていた。

図表 52 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件



施設別の単純集計では項目間の差があまりみられなかったことから、施設種別に、計画的な整備の有無、管理担当者の職種、メンテナンスの実施状況、点検の方法、などの対応別にクロス集計してみた。

福祉用具の計画的な整備の有無別にみると、介護老人福祉施設では「年度ごとの計画に沿って整備している」施設は「多様な福祉用具を施設で保有すること」をやや重視する傾向がみられる。

介護老人保健施設では、「年度ごとの計画に沿って整備している」施設は「福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること」、「継続的に福祉用具活用の実践的な情報が得られること」を重視する傾向が見られた。一方、「中長期的な計画に沿って整備している」施設では「必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること」、「福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること」を重視する傾向が見られた。中長期的な計画に沿って整備している施設では随時調達でき右方法や修理・メンテナンスの体制など用具利用のライフサイクルまで視野に入れた検討が成されていると考えられる。

図表 53

【介護老人福祉施設】

		5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
全体		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実践的な情報が得られること	入所、退所に際して在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	338	161	156	72	122	176	175	12	6	
	100.0	47.6	46.2	21.3	36.1	52.1	51.8	3.6	1.8	
2. (1) 福祉用具の計画的な整備・充実の仕組	年度ごとの計画に沿って整備している	55	26	24	12	24	27	26	3	
		100.0	47.3	43.6	21.8	43.6	49.1	47.3	5.5	
	中長期的な計画に沿って整備している	39	15	19	11	12	20	19	2	
		100.0	38.5	48.7	28.2	30.8	51.3	48.7	5.1	
明確な整備計画はない	233	113	109	47	81	123	125	7		
	100.0	48.5	46.8	20.2	34.8	52.8	53.6	3.0		

【介護老人保健施設】

		5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
全体		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実践的な情報が得られること	入所、退所に際して在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	212	77	96	81	88	105	92	6	6	
	100.0	36.3	45.3	38.2	41.5	49.5	43.4	2.8	2.8	
2. (1) 福祉用具の計画的な整備・充実の仕組	年度ごとの計画に沿って整備している	38	20	23	17	17	20	19	1	
		100.0	52.6	60.5	44.7	44.7	52.6	50.0	2.6	
	中長期的な計画に沿って整備している	23	8	13	10	8	15	13	2	
		100.0	34.8	56.5	43.5	34.8	65.2	56.5	8.7	
明確な整備計画はない	143	45	59	50	63	69	58	3		
	100.0	31.5	41.3	35.0	44.1	48.3	40.6	2.1		

図表 54

【介護老人福祉施設】

		5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」								
全体		0	1	2	3	4	5	無回答	平均	
合計	338	5	76	119	79	27	26	6	2.4	
	100.0	1.5	22.5	35.1	23.4	8.0	7.7	1.8		
2. (1) 福祉用具の計画的な整備・充実の仕組	年度ごとの計画に沿って整備している	55	2	7	24	12	4	4	2	
		100.0	3.6	12.7	43.7	21.8	7.3	7.3	3.6	
	中長期的な計画に沿って整備している	39	0	18	8	6	2	5	0	
		100.0	0.0	46.2	20.5	15.4	5.1	12.8	0.0	
明確な整備計画はない	233	2	49	84	58	21	15	4		
	100.0	0.9	21.0	36.1	24.9	9.0	6.4	1.7		

【介護老人保健施設】

		5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」								
全体		0	1	2	3	4	5	無回答	平均	
合計	212	6	59	67	46	13	15	6	2.2	
	100.0	2.8	27.8	31.7	21.7	6.1	7.1	2.8		
2. (1) 福祉用具の計画的な整備・充実の仕組	年度ごとの計画に沿って整備している	38	1	8	9	9	4	6	1	
		100.0	2.6	21.1	23.7	23.7	10.5	15.8	2.6	
	中長期的な計画に沿って整備している	23	1	2	6	10	2	1	1	
		100.0	4.3	8.7	26.1	43.6	8.7	4.3	4.3	
明確な整備計画はない	143	3	46	51	26	7	8	2		
	100.0	2.1	32.2	35.6	18.2	4.9	5.6	1.4		

福祉用具管理担当者の職種別にみると、介護老人福祉施設の管理職とケアマネジャーは他の職種よりも「継続的に福祉用具活用の実際的な情報が得られること」を重視する傾向が見られた。また、ケアマネジャーとPT、OT、STは他の職種よりも「必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること」、「福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること」を重視する傾向が見られた。福祉用具に関する情報をより多く有している職種では随時調達でき右方法や修理・メンテナンスの体制など用具利用のライフサイクルまで視野に入れた検討が成されていると考えられる。また、PT、OT、STは他の職種よりも「多様な福祉用具を施設で保有すること」を重視する傾向がみられるが、この点も福祉用具に関する情報蓄積の多さが反映されていると考えられる。

図表 55

【介護老人福祉施設】

	全体	5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実際的な情報が得られること	入所、退所の際に在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	338	161	156	72	122	176	175	12	6	
	100.0	47.6	46.2	21.3	36.1	52.1	51.8	3.6	1.8	
1. (2) 福祉用具管理担当者の職種										
管理職	12	6	7	2	5	5	5	0	0	
	100.0	50.0	58.3	16.7	41.7	41.7	41.7	0.0	0.0	
ケアマネジャー	18	9	11	3	5	13	13	0	0	
	100.0	50.0	61.1	16.7	27.8	72.2	72.2	0.0	0.0	
PT、OT、T	13	6	7	2	7	8	9	1	0	
	100.0	46.2	53.8	15.4	53.8	61.5	69.2	7.7	0.0	
介護職	50	24	23	12	16	21	26	2	2	
	100.0	48.0	46.0	24.0	32.0	42.0	52.0	4.0	4.0	
事務職	10	5	5	1	4	5	3	0	0	
	100.0	50.0	50.0	10.0	40.0	50.0	30.0	0.0	0.0	
その他	25	12	11	8	6	15	12	4	0	
	100.0	48.0	44.0	32.0	24.0	60.0	48.0	16.0	0.0	

【介護老人保健施設】

	全体	5. (1) 自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実際的な情報が得られること	入所、退所の際に在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	212	77	96	81	88	105	92	6	6	
	100.0	36.3	45.3	38.2	41.5	49.5	43.4	2.8	2.8	
1. (2) 福祉用具管理担当者の職種										
管理職	12	5	5	4	4	8	6	0	0	
	100.0	41.7	41.7	33.3	33.3	66.7	50.0	0.0	0.0	
ケアマネジャー	2	1	1	1	0	2	0	0	0	
	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
PT、OT、T	42	12	23	20	19	22	18	1	2	
	100.0	28.6	54.8	47.6	45.2	52.4	42.9	2.4	4.8	
介護職	28	11	11	10	8	12	14	1	1	
	100.0	39.3	39.3	35.7	28.6	42.9	50.0	3.6	3.6	
事務職	3	2	2	3	2	1	2	0	0	
	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	
その他	8	4	2	2	4	3	3	0	0	
	100.0	50.0	25.0	25.0	50.0	37.5	37.5	0.0	0.0	

図表 56

【介護老人福祉施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」								
		0	1	2	3	4	5	無回答	平均	
合計	338 100.0	5 1.5	76 22.5	119 35.1	79 23.4	27 8.0	26 7.7	6 1.8	2.4	
1. (2) 福祉用具 管理担当者の職種	管理職	12 100.0	0 0.0	2 16.7	6 50.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	2.3
	ケアマネジャー	18 100.0	0 0.0	3 16.7	4 22.2	7 38.8	1 5.6	3 16.7	0 0.0	2.8
	P T、O T、T	13 100.0	0 0.0	2 15.4	5 38.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	0 0.0	2.8
	介護職	50 100.0	0 0.0	15 30.0	16 32.0	8 16.0	6 12.0	3 6.0	2 4.0	2.3
	事務職	10 100.0	0 0.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2.2
	その他	25 100.0	1 4.0	5 20.0	9 36.0	8 32.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	2.2

【介護老人保健施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」								
		0	1	2	3	4	5	無回答	平均	
合計	212 100.0	6 2.8	59 27.8	67 31.7	46 21.7	13 6.1	15 7.1	6 2.8	2.2	
1. (2) 福祉用具 管理担当者の職種	管理職	12 100.0	0 0.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	0 0.0	2.3
	ケアマネジャー	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2.0
	P T、O T、T	42 100.0	0 0.0	10 23.8	14 33.3	10 23.8	4 9.5	2 4.8	2 4.8	2.4
	介護職	28 100.0	0 0.0	10 35.6	8 28.6	7 25.0	1 3.6	1 3.6	1 3.6	2.1
	事務職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3.0
	その他	8 100.0	0 0.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2.0

福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況別にみると、介護老人福祉施設では「介護の一環として日常的に意識して点検する」施設と「必要に応じて随時点検する」施設が大半を占めるが、重要と考える条件について両施設間で際だった差異はみられない。

介護老人保健施設では、「月に1回程度、日時を決めて一斉に点検する」施設が他の施設に比べて「福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること」、「継続的に福祉用具活用の実際的な情報が得られること」、「福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること」を重視する傾向が見られる。いずれも福祉用具を継続的に有効活用する際のキーポイントであり福祉用具利用に関して一定の見識を有していることが伺われる。

図表 57

【介護老人福祉施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実情的な情報が得られること	入所、退所の際に在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	338 100.0	161 47.6	156 46.2	72 21.3	122 36.1	176 52.1	175 51.8	12 3.6	6 1.8	
2. (3) 福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況	週に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	3 100.0	0 0.0	
	月に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	35 100.0	16 45.7	14 40.0	6 17.1	15 42.9	18 51.4	16 45.7	1 2.9	
	福祉用具の種類によって時期を設定して一斉に行う	25 100.0	12 48.0	10 40.0	6 24.0	7 28.0	15 60.0	14 56.0	1 4.0	
	介護の一環として日常的に意識して点検する	110 100.0	56 50.9	58 52.7	26 23.6	46 41.8	52 47.3	59 53.6	2 1.8	
	必要に応じて随時点検する	157 100.0	69 43.9	70 44.6	32 20.4	47 29.9	86 54.8	76 48.4	8 5.1	
	その他	6 100.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	3 50.0	3 50.0	5 83.3	1 16.7	

【介護老人保健施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件								
		福祉用具利用を随時指導できる専門人材がいること	継続的に福祉用具活用の実情的な情報が得られること	入所、退所の際に在宅の福祉用具利用の状況がわかること	多様な福祉用具を施設で保有すること	必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること	福祉用具の消毒・修理などメンテナンスの体制を整えること	その他	無回答	
合計	212 100.0	77 36.3	96 45.3	81 38.2	88 41.5	105 49.5	92 43.4	6 2.8	6 2.8	
2. (3) 福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況	週に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	5 100.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	0 0.0	
	月に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	31 100.0	15 48.4	19 61.3	14 45.2	14 45.2	19 61.3	15 48.4	1 3.2	
	福祉用具の種類によって時期を設定して一斉に行う	24 100.0	10 41.7	14 58.3	12 50.0	8 33.3	11 45.8	11 45.8	1 4.2	
	介護の一環として日常的に意識して点検する	48 100.0	14 29.2	18 37.5	15 31.3	18 37.5	22 45.8	19 39.6	3 6.3	
	必要に応じて随時点検する	91 100.0	30 33.0	39 42.9	32 35.2	40 44.0	45 49.5	40 44.0	1 1.1	
	その他	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	

図表 58

【介護老人福祉施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」							平均
		0	1	2	3	4	5	無回答	
合計	338 100.0	5 1.5	76 22.5	119 35.1	79 23.4	27 8.0	26 7.7	6 1.8	2.4
2. (3) 福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況	週に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2.3
	月に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	35 100.0	0 0.0	6 17.1	14 39.9	12 34.3	1 2.9	1 2.9	2.3
	福祉用具の種類によって時期を設定して一斉に行う	25 100.0	0 0.0	8 32.0	7 28.0	6 24.0	2 8.0	2 8.0	2.3
	介護の一環として日常的に意識して点検する	110 100.0	1 0.9	24 21.8	33 30.0	28 25.5	13 11.8	9 8.2	2.5
	必要に応じて随時点検する	157 100.0	4 2.5	38 24.2	60 38.3	30 19.1	10 6.4	12 7.6	2.3
	その他	6 100.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2.7

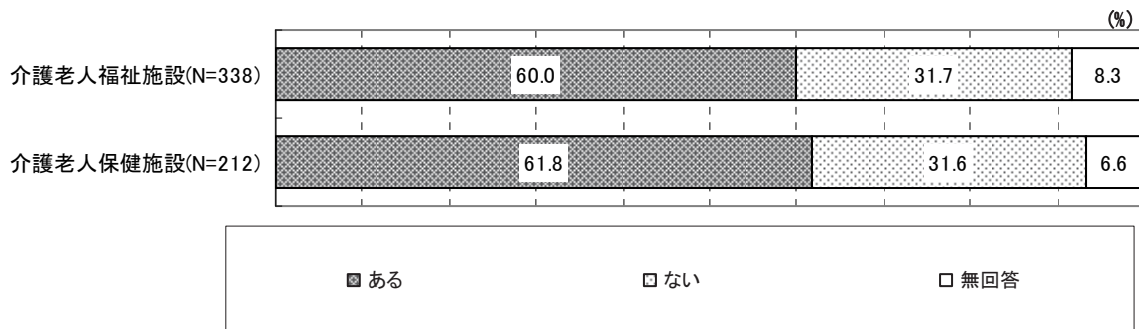
【介護老人保健施設】

	全体	5. (1)自立支援の観点から福祉用具の活用をさらに進めるために、特に重要と考える条件「選択された項目数」							平均
		0	1	2	3	4	5	無回答	
合計	212 100.0	6 2.8	59 27.8	67 31.7	46 21.7	13 6.1	15 7.1	6 2.8	2.2
2. (3) 福祉用具の管理・メンテナンスの実施状況	週に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2.6
	月に1回程度、日時を決めて一斉に点検する	31 100.0	0 0.0	8 25.8	4 12.9	10 32.3	4 12.9	4 12.9	2.7
	福祉用具の種類によって時期を設定して一斉に行う	24 100.0	0 0.0	6 25.0	11 45.8	4 16.7	1 4.2	2 8.3	2.3
	介護の一環として日常的に意識して点検する	48 100.0	2 4.2	17 35.3	17 35.4	9 18.8	2 4.2	1 2.1	1.9
	必要に応じて随時点検する	91 100.0	3 3.3	25 27.5	29 31.8	20 22.0	4 4.4	7 7.7	2.2
	その他	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2.8

2) 今後導入したい福祉用具

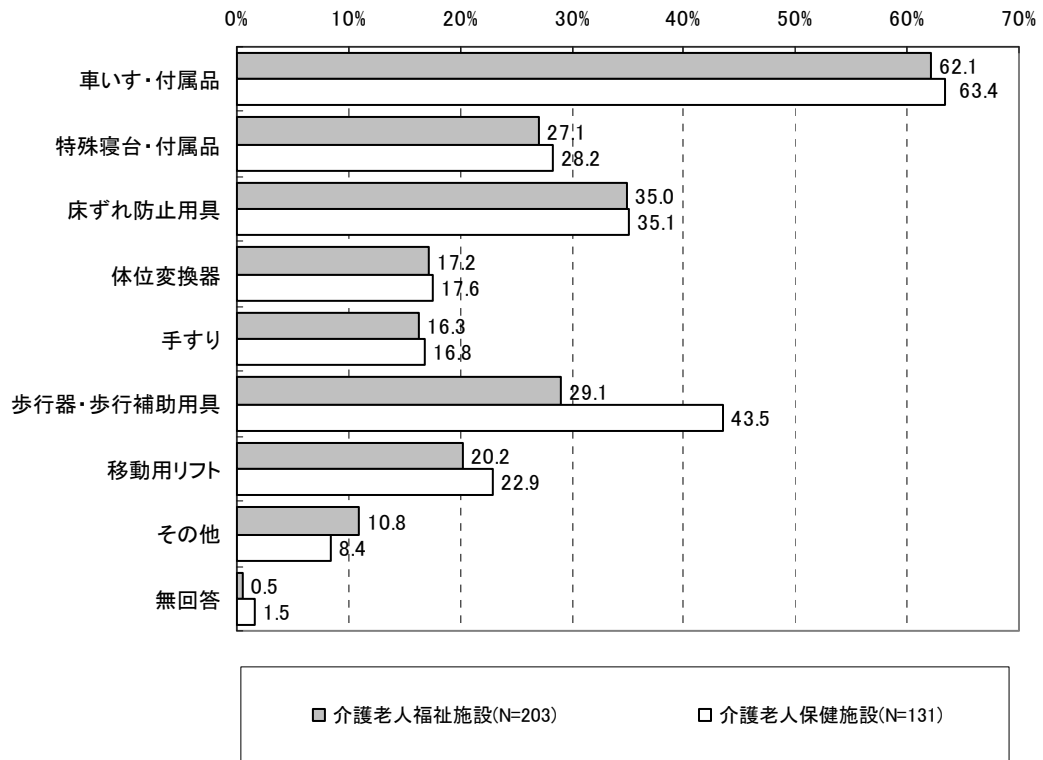
入所者の自立支援を進めるため、今後導入したい福祉用具の有無については、「ある」が約6割を占めた。

図表 59 入所者の自立支援を進めるため、今後導入したい福祉用具の有無



導入したい福祉用具は、「車いす・付属品」が6割強、「床ずれ防止用具」が4割弱、「歩行器・歩行補助用具」が3割強を占めた。利用指導では重視する用具としてはほとんど回答のなかった「移動用リフト」についても2割程度が回答している。

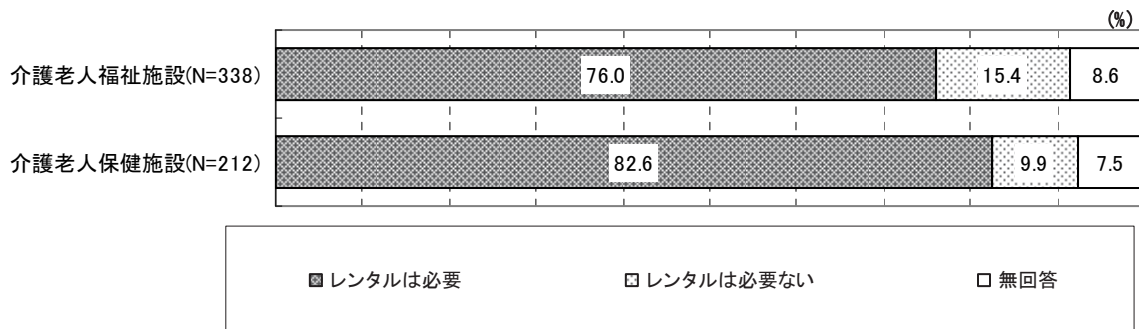
図表 60 導入したい福祉用具



3) 入所者に対する福祉用具貸与の必要性

入所中の入所者に対する福祉用具の貸与（レンタル）の必要性については、「レンタルは必要」という回答が多く、介護老人福祉施設では7割以上、介護老人保健施設では8割以上を占めた。

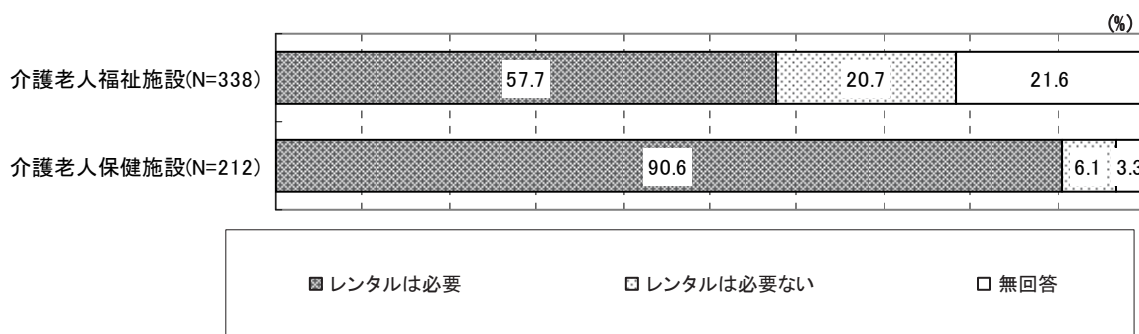
図表 61 入所中の入所者に対して福祉用具の貸与（レンタル）の必要性



4) 復帰訓練時の福祉用具貸与の必要性

退所時の復帰訓練中に利用者への福祉用具の貸与（レンタル）の必要性の回答も多く、介護老人福祉施設では「レンタルは必要」が6割弱、介護老人保健施設では9割以上が必要と回答した。

図表 62 退所時の復帰訓練中に利用者への福祉用具の貸与（レンタル）の必要性



施設における福祉用具利用の課題についてのまとめ

- ・福祉用具の活用を進めるために必要な条件として「継続的に福祉用具活用の実際的な情報が得られること」、「必要な福祉用具を随時調達できる方法を確保すること」が介護老人福祉施設、介護老人保健施設に共通して高い回答率となった。【図表 52】
- ・今後導入したい福祉用具としては車いすを中心に移動に関する用具が多く集めたが、移動用リフトについても2割程度の回答があった。【図表 60】
- ・入所者に対する福祉用具貸与の必要性について支持する回答は全体で8割近く、介護老人保健施設では8割以上となった。【図表 61】
- ・退所に際しての復帰訓練中における福祉用具貸与の必要性について支持する回答は、介護老人保健施設では9割以上となった。【図表 62】

→入所者の自立支援の観点から、個々の入所者に適合した福祉用具を適合したい要望は大きい。

→その調達手段として福祉用具貸与への期待は大きい。特に入所者の入れ替わりが比較的頻繁にあると考えられる介護老人保健施設でより期待が大きい。

→介護負担軽減、自立支援促進は高齢者施設の経営にとっても大きなテーマであり、それらを推進する具体的な体制、方策を整えることは大きな経営課題である。福祉用具を積極的に活用することはこうした体制整備に資する方向とも重なる。

(7) 施設における福祉用具の利用状況

介護老人福祉施設、介護老人保健施設に共通して利用が多いのは「車いす」「特殊寝台」「床ずれ防止用具」「ポータブルトイレ」である。

車いすについては施設の保有台数と実際の稼働台数の差がやや大きいこと、入所者の持込も一定数あることがわかる。

介護老人保健施設においては「手すり」の利用が多く、「歩行器」、「歩行補助つえ」の利用も見られる。

施設における福祉用具の利用状況【平均値】

	特養			老健		
	施設保有台数(施設にある全て)	実際の利用、稼働台数	入所者持込台数	施設保有台数(施設にある全て)	実際の利用、稼働台数	入所者持込台数
(1) 車いす	64.7	54.0	7.0	70.3	60.5	6.2
(2) 特殊寝台	59.8	57.7	0.1	62.9	58.8	0.0
(3) 床ずれ防止用具	22.9	19.8	2.1	22.5	19.7	1.3
(4) 体位変換器	4.7	4.7	1.2	5.1	5.0	0.1
(5) 手すり(据え置き型のみ)	13.9	16.1	0.0	36.7	38.8	0.0
(6) スロープ(据え置き型のみ)	0.4	0.3	0.0	0.3	0.1	0.0
(7) 歩行器	7.7	4.8	1.1	13.6	8.8	1.7
(8) 歩行補助つえ	4.9	1.5	2.4	10.3	5.7	6.6
(9) 認知症老人徘徊感知機器	6.9	6.2	0.0	7.0	4.3	0.0
(10) 移動用リフト	1.0	0.6	0.0	0.7	0.5	0.0
(11) 入浴用リフト	1.6	1.7	0.0	0.9	0.9	0.0
(12) ポータブルトイレ	15.8	11.5	1.1	21.1	16.2	0.8

1) 福祉用具種類別の利用状況

①車いす

介護老人福祉施設では定員規模とほぼ同程度の車いすを保有している施設が多い。

介護老人保健施設では定員規模よりやや少ない台数を保有する施設が福祉施設よりも多い。

図表 63

			全体	6. 1. 車いす					平均	
				50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	不明		非該当
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	78	99	69	35	57	64.66	8.99
			100.0	23.1	29.2	20.4	10.4	16.9		
		稼働台数	338	131	64	54	11	78	53.91	53.91
		100.0	38.7	18.9	16.0	3.3	23.1			
	持込台数	338	232	2	1	0	103	6.97	6.97	
		100.0	68.6	0.6	0.3	0.0	30.5			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	35	45	79	28	25	72.19	72.19	
		100.0	16.5	21.2	37.3	13.2	11.8			
	稼働台数	212	48	58	47	14	45	61.51	61.51	
		100.0	22.6	27.4	22.2	6.6	21.2			
	持込台数	212	151	0	0	0	61	6.04	6.04	
		100.0	71.2	0.0	0.0	0.0	28.8			

図表 64

【介護老人福祉施設】

			全体	6. 1. 車いす_施設保有台数						平均
				50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	
合計			338	78	99	69	35	57	0	64.7
			100.0	23.1	29.2	20.4	10.4	16.9		
1. (1) 入所定員	50人未満	27	22	2	0	0	3	0	32.3	
		100.0	81.5	7.4	0.0	0.0	11.1			
	50人以上70人未満	152	51	66	15	1	19	0	52.5	
		100.0	33.6	43.3	9.9	0.7	12.5			
	70～100	105	4	25	40	9	27	0	76.2	
		100.0	3.8	23.8	38.1	8.6	25.7			
	100人以上	50	1	5	13	23	8	0	97.3	
		100.0	2.0	10.0	26.0	46.0	16.0			

【介護老人保健施設】

			全体	6. 1. 車いす_施設保有台数						平均
				50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	
合計			212	35	45	79	28	25	0	72.2
			100.0	16.5	21.2	37.3	13.2	11.8		
1. (1) 入所定員	50人未満	10	9	0	0	0	1	0	25.2	
		100.0	90.0	0.0	0.0	0.0	10.0			
	50人以上70人未満	29	13	12	1	0	3	0	46.5	
		100.0	44.9	41.4	3.4	0.0	10.3			
	70～100	72	11	22	30	0	9	0	65.0	
		100.0	15.3	30.6	41.6	0.0	12.5			
	100人以上	99	2	11	48	27	11	0	89.4	
		100.0	2.0	11.1	48.5	27.3	11.1			

図表 65

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 1. 車いす_施設保有台数						平均
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	
合計		338 100.0	78 23.1	99 29.2	69 20.4	35 10.4	57 16.9	0	64.7
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	13 100.0	4 30.7	4 30.8	4 30.8	0 0.0	1 7.7	0	63.1
	ユニット型個室中心	57 100.0	15 26.3	15 26.3	12 21.1	7 12.3	8 14.0	0	64.5
	多床室中心	158 100.0	34 21.5	55 34.9	34 21.5	13 8.2	22 13.9	0	63.5
	混合型	54 100.0	9 16.7	9 16.7	12 22.2	7 13.0	17 31.4	0	70.7

【介護老人保健施設】

		全体	6. 1. 車いす_施設保有台数						平均
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	
合計		212 100.0	35 16.5	45 21.2	79 37.3	28 13.2	25 11.8	0	72.2
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	10 100.0	2 20.0	0 0.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	0	70.0
	ユニット型個室中心	7 100.0	4 57.1	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0	48.5
	多床室中心	105 100.0	13 12.4	26 24.8	40 38.0	15 14.3	11 10.5	0	74.6
	混合型	47 100.0	11 23.4	9 19.1	13 27.7	7 14.9	7 14.9	0	69.9

図表 66

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 1. 車いす_実際の利用、稼働台数						平均
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	
合計		338 100.0	131 38.7	64 18.9	54 16.0	11 3.3	78 23.1	0	53.9
1. (1) 入所定員	50人未満	27 100.0	21 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 22.2	0	26.5
	50人以上70人未満	152 100.0	97 63.8	24 15.8	2 1.3	0 0.0	29 19.1	0	41.9
	70～100	105 100.0	10 9.5	33 31.5	29 27.6	2 1.9	31 29.5	0	65.0
	100人以上	50 100.0	3 6.0	6 12.0	23 46.0	7 14.0	11 22.0	0	81.8

【介護老人保健施設】

		全体	6. 1. 車いす_実際の利用、稼働台数						
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	48 22.6	58 27.4	47 22.2	14 6.6	45 21.2	0	61.5
1. (1) 入所定員	50人未満	10 100.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0	21.1
	50人以上70人未満	29 100.0	17 58.6	4 13.8	0 0.0	0 0.0	8 27.6	0	36.8
	70～100	72 100.0	16 22.2	30 41.7	10 13.9	0 0.0	16 22.2	0	55.7
	100人以上	99 100.0	6 6.1	24 24.2	37 37.4	13 13.1	19 19.2	0	76.1

図表 67

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 1. 車いす_実際の利用、稼働台数						
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	131 38.7	64 18.9	54 16.0	11 3.3	78 23.1	0	53.9
1. (1) 入所施設の形態	従来型個室中心	13 100.0	6 46.1	4 30.8	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0	46.5
	ユニット型個室中心	57 100.0	22 38.6	9 15.8	9 15.8	2 3.5	15 26.3	0	54.7
	多床室中心	158 100.0	66 41.7	32 20.3	26 16.5	4 2.5	30 19.0	0	53.1
	混合型	54 100.0	15 27.8	7 13.0	11 20.4	2 3.7	19 35.1	0	58.9

【介護老人保健施設】

		全体	6. 1. 車いす_実際の利用、稼働台数						
			50台未満	50～70台未満	70～100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	48 22.6	58 27.4	47 22.2	14 6.6	45 21.2	0	61.5
1. (1) 入所施設の形態	従来型個室中心	10 100.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	0	61.0
	ユニット型個室中心	7 100.0	3 42.8	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0	42.4
	多床室中心	105 100.0	24 22.9	27 25.7	27 25.7	6 5.7	21 20.0	0	62.6
	混合型	47 100.0	10 21.3	14 29.7	10 21.3	3 6.4	10 21.3	0	61.3

図表 68

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 1. 車いす_入所者持込台数						
			50台未満	50~70台未満	70~100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	232 68.6	2 0.6	1 0.3	0 0.0	103 30.5	0	7.0
1. (1) 入所定員	50人未満	27 100.0	15 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 44.4	0	2.2
	50人以上70人未満	152 100.0	110 72.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 27.6	0	5.3
	70~100	105 100.0	68 64.7	0 0.0	1 1.0	0 0.0	36 34.3	0	8.3
	100人以上	50 100.0	36 72.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	13 26.0	0	10.5

【介護老人保健施設】

		全体	6. 1. 車いす_入所者持込台数						
			50台未満	50~70台未満	70~100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	151 71.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	61 28.8	0	6.0
1. (1) 入所定員	50人未満	10 100.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0	3.5
	50人以上70人未満	29 100.0	20 69.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 31.0	0	4.3
	70~100	72 100.0	50 69.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 30.6	0	5.3
	100人以上	99 100.0	72 72.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 27.3	0	7.4

図表 69

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 1. 車いす_入所者持込台数						
			50台未満	50~70台未満	70~100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	232 68.6	2 0.6	1 0.3	0 0.0	103 30.5	0	7.0
1. (1) 入所施設の形態	従来型個室中心	13 100.0	9 69.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0	6.1
	ユニット型個室中心	57 100.0	37 64.8	1 1.8	1 1.8	0 0.0	18 31.6	0	11.1
	多床室中心	158 100.0	113 71.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	45 28.5	0	5.5
	混合型	54 100.0	33 61.1	1 1.9	0 0.0	0 0.0	20 37.0	0	8.9

【介護老人保健施設】

		全体	6. 1. 車いす_入所者持込台数						
			50台未満	50~70台未満	70~100台未満	100台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	151 71.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	61 28.8	0	6.0
1. (1) 入所施設の形態	従来型個室中心	10 100.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0	0	4.5
	ユニット型個室中心	7 100.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0	14.3
	多床室中心	105 100.0	76 72.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 27.6	0	6.1
	混合型	47 100.0	36 76.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 23.4	0	6.9

②特殊寝台

		全体	6. 2. 特殊寝台							
			10台未満	10~50台未満	50~100台未満	100台以上	不明	非該当	平均	
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338 100.0	43 12.7	31 9.2	119 35.2	40 11.8	105 31.1	0	60.01
		稼働台数	338 100.0	41 12.1	39 11.5	105 31.1	33 9.8	120 35.5	0	57.65
		持込台数	338 100.0	132 39.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	206 60.9	0	0.08
施設種別	介護老人保健施設	施設保有台数	212 100.0	47 22.2	14 6.6	37 17.5	42 19.8	72 33.9	0	57.27
		稼働台数	212 100.0	37 17.5	16 7.5	34 16.0	26 12.3	99 46.7	0	54.61
		持込台数	212 100.0	71 33.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	141 66.5	0	0.01

③床ずれ防止用具

			6. 3. 床ずれ防止用具							
			全体	5台未満	5～10台未満	10～20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	25	46	71	93	103	0	22.37
			100.0	7.4	13.6	21.0	27.5	30.5		
		稼働台数	338	37	48	57	76	120	0	19.42
		100.0	10.9	14.2	16.9	22.5	35.5			
	持込台数	338	125	3	5	5	200	0	2.02	
		100.0	37.0	0.9	1.5	1.5	59.1			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	19	31	43	55	64	0	22.96	
		100.0	9.0	14.6	20.3	25.9	30.2			
	稼働台数	212	21	29	37	41	84	0	19.35	
	100.0	9.9	13.7	17.5	19.3	39.6				
持込台数	212	78	2	4	1	127	0	1.35		
	100.0	36.8	0.9	1.9	0.5	59.9				

④体位変換器

			6. 4. 体位変換器							
			全体	0台	1～2台	3～4台	5台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	110	6	3	26	193	0	4.50
			100.0	32.5	1.8	0.9	7.7	57.1		
		稼働台数	338	79	4	3	24	228	0	4.48
		100.0	23.4	1.2	0.9	7.1	67.4			
	持込台数	338	90	3	1	7	237	0	1.13	
		100.0	26.6	0.9	0.3	2.1	70.1			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	73	8	1	20	110	0	5.72	
		100.0	34.4	3.8	0.5	9.4	51.9			
	稼働台数	212	55	2	1	15	139	0	5.55	
	100.0	25.9	0.9	0.5	7.1	65.6				
持込台数	212	60	4	0	0	148	0	0.06		
	100.0	28.3	1.9	0.0	0.0	69.8				

⑤手すり (据え置き型のみ)

			6. 5. 手すり (据え置き型のみ)								
			全体	0台	1～5台未満	5～10台未満	10～100台未満	100台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	65	20	5	20	6	222	0	13.41
			100.0	19.2	5.9	1.5	5.9	1.8	65.7		
		稼働台数	338	49	20	4	12	6	247	0	15.27
		100.0	14.5	5.9	1.2	3.6	1.8	73.0			
	持込台数	338	71	2	0	0	0	265	0	0.03	
		100.0	21.0	0.6	0.0	0.0	0.0	78.4			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	45	13	3	8	13	130	0	31.27	
		100.0	21.2	6.1	1.4	3.8	6.1	61.4			
	稼働台数	212	35	7	3	8	10	149	0	34.03	
	100.0	16.5	3.3	1.4	3.8	4.7	70.3				
持込台数	212	56	0	0	0	0	156	0	0.00		
	100.0	26.4	0.0	0.0	0.0	0.0	73.6				

⑥スロープ (据え置き型のみ)

			6. 6. スロープ (据え置き型のみ)							
			全体	0台	1~2台	3~4台	5台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	94	29	2	1	212	0	0.39
			100.0	27.8	8.6	0.6	0.3	62.7		
		稼働台数	338	72	19	1	0	246	0	0.29
		100.0	21.3	5.6	0.3	0.0	72.8			
	持込台数	338	76	0	0	0	262	0	0.00	
		100.0	22.5	0.0	0.0	0.0	77.5			
介護老人保健施設	施設保有台数	施設保有台数	212	73	11	2	0	126	0	0.26
			100.0	34.4	5.2	0.9	0.0	59.5		
		稼働台数	212	56	5	0	0	151	0	0.13
		100.0	26.4	2.4	0.0	0.0	71.2			
	持込台数	212	53	0	0	0	159	0	0.00	
		100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0			

⑦歩行器

			6. 7. 歩行器							
			全体	5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	100	95	56	20	67	0	7.62
			100.0	29.6	28.1	16.6	5.9	19.8		
		稼働台数	338	146	64	19	8	101	0	4.76
		100.0	43.2	18.9	5.6	2.4	29.9			
	持込台数	338	140	7	3	0	188	0	1.14	
		100.0	41.4	2.1	0.9	0.0	55.6			
介護老人保健施設	施設保有台数	施設保有台数	212	31	40	59	47	35	0	13.80
			100.0	14.6	18.9	27.8	22.2	16.5		
		稼働台数	212	55	42	39	14	62	0	8.67
		100.0	25.9	19.8	18.4	6.6	29.3			
	持込台数	212	92	12	4	0	104	0	1.76	
		100.0	43.4	5.7	1.9	0.0	49.0			

図表 70

【介護老人福祉施設】

			6. 7. 歩行器_施設保有台数							
			全体	5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計			338	100	95	56	20	67	0	7.6
			100.0	29.6	28.1	16.6	5.9	19.8		
1. (1) 入所定員	50人未満	施設保有台数	27	14	7	3	0	3	0	4.8
			100.0	51.9	25.9	11.1	0.0	11.1		
	50人以上70人未満	施設保有台数	152	56	47	18	1	30	0	5.6
			100.0	36.9	30.9	11.8	0.7	19.7		
	70~100	施設保有台数	105	20	30	19	11	25	0	9.4
		100.0	19.0	28.6	18.1	10.5	23.8			
100人以上	施設保有台数	50	10	9	15	7	9	0	11.2	
		100.0	20.0	18.0	30.0	14.0	18.0			

【介護老人保健施設】

	全体	6. 7. 歩行器_施設保有台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	212 100.0	31 14.6	40 18.9	59 27.8	47 22.2	35 16.5	0	13.8	
1. (1) 入所定員	50人未満	10 100.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0	3.6
	50人以上70人未満	29 100.0	6 20.7	7 24.1	10 34.6	1 3.4	5 17.2	0	9.3
	70~100	72 100.0	10 13.9	14 19.4	19 26.4	18 25.0	11 15.3	0	13.3
	100人以上	99 100.0	9 9.1	18 18.2	28 28.2	28 28.3	16 16.2	0	16.5

図表 71

【介護老人福祉施設】

	全体	6. 7. 歩行器_施設保有台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	338 100.0	100 29.6	95 28.1	56 16.6	20 5.9	67 19.8	0	7.6	
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	13 100.0	2 15.4	7 53.8	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0	7.7
	ユニット型個室中心	57 100.0	17 29.9	16 28.1	8 14.0	6 10.5	10 17.5	0	8.0
	多床室中心	158 100.0	51 32.4	44 27.8	25 15.8	7 4.4	31 19.6	0	7.2
	混合型	54 100.0	7 13.0	14 25.9	11 20.4	4 7.4	18 33.3	0	9.5

【介護老人保健施設】

	全体	6. 7. 歩行器_施設保有台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	212 100.0	31 14.6	40 18.9	59 27.8	47 22.2	35 16.5	0	13.8	
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	10 100.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0	13.9
	ユニット型個室中心	7 100.0	2 28.5	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0	9.3
	多床室中心	105 100.0	12 11.4	19 18.1	34 32.4	26 24.8	14 13.3	0	14.6
	混合型	47 100.0	10 21.2	7 14.9	10 21.3	10 21.3	10 21.3	0	13.5

図表 72

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 7. 歩行器_実際の利用、稼働台数						
			5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	146 43.2	64 18.9	19 5.6	8 2.4	101 29.9	0	4.8
1. (1) 入所定員	50人未満	27 100.0	14 51.9	3 11.1	2 7.4	0 0.0	8 29.6	0	3.3
	50人以上70人未満	152 100.0	73 48.0	28 18.4	2 1.3	1 0.7	48 31.6	0	3.5
	70~100	105 100.0	36 34.2	19 18.1	13 12.4	5 4.8	32 30.5	0	6.4
	100人以上	50 100.0	20 40.0	14 28.0	2 4.0	2 4.0	12 24.0	0	5.9

【介護老人保健施設】

		全体	6. 7. 歩行器_実際の利用、稼働台数						
			5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	55 25.9	42 19.8	39 18.4	14 6.6	62 29.3	0	8.7
1. (1) 入所定員	50人未満	10 100.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0	1.9
	50人以上70人未満	29 100.0	9 31.0	6 20.7	3 10.3	1 3.4	10 34.6	0	5.9
	70~100	72 100.0	21 29.1	12 16.7	16 22.2	2 2.8	21 29.2	0	7.8
	100人以上	99 100.0	18 18.2	24 24.2	19 19.2	11 11.1	27 27.3	0	10.7

図表 73

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 7. 歩行器_実際の利用、稼働台数						
			5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	146 43.2	64 18.9	19 5.6	8 2.4	101 29.9	0	4.8
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	13 100.0	6 46.1	3 23.1	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0	4.8
	ユニット型個室中心	57 100.0	25 43.8	7 12.3	3 5.3	3 5.3	19 33.3	0	5.0
	多床室中心	158 100.0	73 46.2	29 18.4	7 4.4	3 1.9	46 29.1	0	4.6
	混合型	54 100.0	15 27.8	13 24.1	4 7.4	1 1.9	21 38.8	0	5.7

【介護老人保健施設】

	全体	6. 7. 歩行器_実際の利用、稼働台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	212 100.0	55 25.9	42 19.8	39 18.4	14 6.6	62 29.3	0	8.7	
1. (1) 入所施設の形態	従来型個室中心	10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	0	9.9
	ユニット型個室中心	7 100.0	2 28.5	1 14.3	2 28.6	0 0.0	2 28.6	0	8.0
	多床室中心	105 100.0	24 22.9	27 25.7	16 15.2	9 8.6	29 27.6	0	9.2
	混合型	47 100.0	15 31.9	8 17.0	9 19.1	2 4.3	13 27.7	0	7.6

図表 74

【介護老人福祉施設】

	全体	6. 7. 歩行器_入所者持込台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	338 100.0	140 41.4	7 2.1	3 0.9	0 0.0	188 55.6	0	1.1	
1. (1) 入所定員	50人未満	27 100.0	8 29.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 70.4	0	0.1
	50人以上70人未満	152 100.0	71 46.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	80 52.6	0	0.7
	70~100	105 100.0	41 39.0	6 5.7	1 1.0	0 0.0	57 54.3	0	1.6
	100人以上	50 100.0	17 34.0	0 0.0	2 4.0	0 0.0	31 62.0	0	1.8

【介護老人保健施設】

	全体	6. 7. 歩行器_入所者持込台数							
		5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均	
合計	212 100.0	92 43.4	12 5.7	4 1.9	0 0.0	104 49.0	0	1.8	
1. (1) 入所定員	50人未満	10 100.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	0	0.6
	50人以上70人未満	29 100.0	11 37.9	1 3.4	0 0.0	0 0.0	17 58.7	0	0.9
	70~100	72 100.0	29 40.3	2 2.8	0 0.0	0 0.0	41 56.9	0	0.9
	100人以上	99 100.0	46 46.5	9 9.1	4 4.0	0 0.0	40 40.4	0	2.5

図表 75

【介護老人福祉施設】

		全体	6. 7. 歩行器_入所者持込台数						
			5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計		338 100.0	140 41.4	7 2.1	3 0.9	0 0.0	188 55.6	0	1.1
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	13 100.0	7 53.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	5 38.5	0	1.1
	ユニット型個室中心	57 100.0	27 47.3	3 5.3	0 0.0	0 0.0	27 47.4	0	1.3
	多床室中心	158 100.0	64 40.5	1 0.6	1 0.6	0 0.0	92 58.3	0	0.8
	混合型	54 100.0	18 33.3	2 3.7	1 1.9	0 0.0	33 61.1	0	1.9

【介護老人保健施設】

		全体	6. 7. 歩行器_入所者持込台数						
			5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	無回答	非該当	平均
合計		212 100.0	92 43.4	12 5.7	4 1.9	0 0.0	104 49.0	0	1.8
1. (1) 入所施設 の形態	従来型個室中心	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 100.0	0	-
	ユニット型個室中心	7 100.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0	3.0
	多床室中心	105 100.0	44 41.9	6 5.7	3 2.9	0 0.0	52 49.5	0	1.9
	混合型	47 100.0	23 48.9	3 6.4	1 2.1	0 0.0	20 42.6	0	1.8

⑧歩行補助つえ

			6. 8. 歩行補助つえ							
			全体	5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	107	36	33	8	154	0	5.04
			100.0	31.7	10.7	9.8	2.4	45.4		
		稼働台数	338	143	11	3	0	181	0	1.52
		100.0	42.3	3.3	0.9	0.0	53.5			
	持込台数	338	117	13	6	2	200	0	2.35	
		100.0	34.6	3.8	1.8	0.6	59.2			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	33	28	65	22	64	0	10.87	
		100.0	15.6	13.2	30.6	10.4	30.2			
	稼働台数	212	65	27	24	3	93	0	5.82	
	100.0	30.7	12.7	11.3	1.4	43.9				
持込台数	212	59	21	18	10	104	0	7.20		
	100.0	27.8	9.9	8.5	4.7	49.1				

⑨認知症老人徘徊感知機器

			6. 9. 認知症老人徘徊感知機器							
			全体	0台	1~2台	3~4台	5台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	65	25	14	91	143	0	6.89
			100.0	19.2	7.4	4.1	26.9	42.4		
		稼働台数	338	60	21	11	75	171	0	6.20
		100.0	17.8	6.2	3.3	22.2	50.5			
	持込台数	338	100	2	0	0	236	0	0.02	
		100.0	29.6	0.6	0.0	0.0	69.8			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	49	18	14	48	83	0	6.67	
		100.0	23.1	8.5	6.6	22.6	39.2			
	稼働台数	212	44	17	11	37	103	0	4.64	
	100.0	20.8	8.0	5.2	17.5	48.5				
持込台数	212	66	2	0	0	144	0	0.03		
	100.0	31.1	0.9	0.0	0.0	68.0				

⑩移動用リフト

			6. 10. 移動用リフト							
			全体	0台	1~2台	3~4台	5台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	95	41	7	5	190	0	0.93
			100.0	28.1	12.1	2.1	1.5	56.2		
		稼働台数	338	86	20	4	2	226	0	0.53
		100.0	25.4	5.9	1.2	0.6	66.9			
		持込台数	338	88	0	0	0	250	0	0.00
		100.0	26.0	0.0	0.0	0.0	74.0			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	74	21	3	3	111	0	0.62	
		100.0	34.9	9.9	1.4	1.4	52.4			
		稼働台数	212	62	9	3	1	137	0	0.36
		100.0	29.2	4.2	1.4	0.5	64.7			
		持込台数	212	58	0	0	0	154	0	0.00
		100.0	27.4	0.0	0.0	0.0	72.6			

⑪入浴用リフト

			6. 11. 入浴用リフト							
			全体	0台	1~2台	3~4台	5台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	66	79	16	15	162	0	1.60
			100.0	19.5	23.4	4.7	4.4	48.0		
		稼働台数	338	47	72	13	10	196	0	1.65
		100.0	13.9	21.3	3.8	3.0	58.0			
		持込台数	338	86	1	1	0	250	0	0.05
		100.0	25.4	0.3	0.3	0.0	74.0			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	55	55	11	4	87	0	1.26	
		100.0	25.9	25.9	5.2	1.9	41.1			
		稼働台数	212	44	43	8	4	113	0	1.20
		100.0	20.8	20.3	3.8	1.9	53.2			
		持込台数	212	66	0	0	0	146	0	0.00
		100.0	31.1	0.0	0.0	0.0	68.9			

⑫ポータブルトイレ

			6. 12. ポータブルトイレ							
			全体	10台未満	10~50台未満	50~100台未満	100台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	65	201	2	0	70	0	15.59
			100.0	19.2	59.5	0.6	0.0	20.7		
		稼働台数	338	121	122	1	0	94	0	11.31
		100.0	35.8	36.1	0.3	0.0	27.8			
		持込台数	338	141	1	0	0	196	0	1.05
		100.0	41.7	0.3	0.0	0.0	58.0			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	34	127	7	0	44	0	20.50	
		100.0	16.0	59.9	3.3	0.0	20.8			
		稼働台数	212	58	87	3	0	64	0	15.17
		100.0	27.4	41.0	1.4	0.0	30.2			
		持込台数	212	92	1	0	0	119	0	0.72
		100.0	43.4	0.5	0.0	0.0	56.1			

⑬その他 1

			6. 13. その他 1							
			全体	5台未満	5～10台未満	10～20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	15	7	11	8	297	0	12.12
			100.0	4.4	2.1	3.3	2.4	87.8		
		稼働台数	338	18	6	9	6	299	0	10.79
		100.0	5.3	1.8	2.7	1.8	88.4			
		持込台数	338	15	2	1	0	320	0	2.11
		100.0	4.4	0.6	0.3	0.0	94.7			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	12	13	8	4	175	0	9.76	
		100.0	5.7	6.1	3.8	1.9	82.5			
	稼働台数	212	10	11	10	2	179	0	8.58	
	100.0	4.7	5.2	4.7	0.9	84.5				
	持込台数	212	17	0	1	1	193	0	2.74	
	100.0	8.0	0.0	0.5	0.5	91.0				

⑭その他 2

			6. 14. その他 2							
			全体	5台未満	5～10台未満	10～20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	12	2	5	0	319	0	5.16
			100.0	3.6	0.6	1.5	0.0	94.3		
		稼働台数	338	13	2	2	0	321	0	3.35
		100.0	3.8	0.6	0.6	0.0	95.0			
		持込台数	338	9	0	0	0	329	0	0.56
		100.0	2.7	0.0	0.0	0.0	97.3			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	12	5	5	2	188	0	8.79	
		100.0	5.7	2.4	2.4	0.9	88.6			
	稼働台数	212	12	4	2	2	192	0	7.80	
	100.0	5.7	1.9	0.9	0.9	90.6				
	持込台数	212	11	1	0	0	200	0	0.92	
	100.0	5.2	0.5	0.0	0.0	94.3				

⑮その他 3

			6. 15. その他 3							
			全体	5台未満	5～10台未満	10～20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	5	4	0	0	329	0	4.11
			100.0	1.5	1.2	0.0	0.0	97.3		
		稼働台数	338	5	4	0	0	329	0	3.33
		100.0	1.5	1.2	0.0	0.0	97.3			
		持込台数	338	4	0	0	0	334	0	0.25
		100.0	1.2	0.0	0.0	0.0	98.8			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	7	2	3	1	199	0	7.77	
		100.0	3.3	0.9	1.4	0.5	93.9			
	稼働台数	212	5	3	1	1	202	0	6.50	
	100.0	2.4	1.4	0.5	0.5	95.2				
	持込台数	212	8	0	0	0	204	0	0.13	
	100.0	3.8	0.0	0.0	0.0	96.2				

⑩その他 4

			6. 16. その他 4							
			全体	5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	2	2	0	1	333	0	13.60
			100.0	0.6	0.6	0.0	0.3	98.5		
		稼働台数	338	3	1	0	1	333	0	13.00
		100.0	0.9	0.3	0.0	0.3	98.5			
	持込台数	338	2	0	0	0	336	0	0.00	
		100.0	0.6	0.0	0.0	0.0	99.4			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	2	2	2	1	205	0	8.43	
		100.0	0.9	0.9	0.9	0.5	96.8			
	稼働台数	212	3	2	2	0	205	0	7.14	
	100.0	1.4	0.9	0.9	0.0	96.8				
持込台数	212	3	0	0	0	209	0	0.00		
	100.0	1.4	0.0	0.0	0.0	98.6				

⑪その他 5

			6. 17. その他 5							
			全体	5台未満	5~10台未満	10~20台未満	20台以上	不明	非該当	平均
施設種別	介護老人福祉施設	施設保有台数	338	1	0	0	1	336	0	28.50
			100.0	0.3	0.0	0.0	0.3	99.4		
		稼働台数	338	1	0	0	1	336	0	25.50
		100.0	0.3	0.0	0.0	0.3	99.4			
	持込台数	338	1	0	0	0	337	0	0.00	
		100.0	0.3	0.0	0.0	0.0	99.7			
介護老人保健施設	施設保有台数	212	3	0	1	0	208	0	5.25	
		100.0	1.4	0.0	0.5	0.0	98.1			
	稼働台数	212	3	1	0	0	208	0	3.50	
	100.0	1.4	0.5	0.0	0.0	98.1				
持込台数	212	4	0	0	0	208	0	0.50		
	100.0	1.9	0.0	0.0	0.0	98.1				